

注3

大学番号：040

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

山梨大学大学院 医工農学総合教育部
工学専攻（修士課程）

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 山梨大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画課

職名・氏名 主任・岩村 徹イワムラ トオル

電話番号 055-220-8071

（夜間） 055-220-8071

F A X 055-220-8799

e-mail kikaku@yamanashi.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医工農学総合教育部

| <工学専攻（修士課程）> | ページ |
|-------------------|-----|
| 1. 調査対象大学等の概要等 | 1 |
| 2. 授業科目の概要 | 5 |
| 3. 施設・設備の整備状況、経費 | 19 |
| 4. 既設大学等の状況 | 20 |
| 5. 教員組織の状況 | 22 |
| 6. 留意事項等に対する履行状況等 | 41 |
| 7. その他全般的事項 | 51 |

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山梨大学

(2) 大学名

山梨大学

(3) 大学の位置

〒400-8511

山梨県甲府市武田4-3-11

(山梨県甲府市武田4-4-37)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

| 職名 | 設置時 | 変更状況 | 備考 |
|------------|------------------------------------|------|----|
| 学長 | (シマダ シンジ) 島田 眞路 (平成27年4月1日) | | |
| 理事 (教学) | (ホリ テツオ) 堀 哲夫 (平成27年4月1日) | | |
| 専攻長 | (トヨキ ヒロヤス) 豊木 博泰 (平成28年4月1日) | | |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

| 調査対象研究科等の名称(学位) | 学位又は学科の分野 | 設置時の計画 | | | 備考 |
|---------------------------------------|-----------|--------|------|------|---------------------|
| | | 修業年限 | 入学定員 | 収容定員 | |
| 医工農学総合教育部 工学専攻(修士課程) 修士(工学) | 工学関係 | 2年 | 181人 | 362人 | 基礎となる学部等 工学部 |

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

| 区分 | 報告年度 | | 平均入学定員超過率 | | 備考 |
|----------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|--------|--------------------|
| | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | |
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| A 入学定員 | 181 (-) [-] | 181 (-) [-] | 0.96 | 0.97倍 | 平成28年度10月入学者5名(29) |
| 志願者数 | 196 (-) [7] | 5 (-) [5] | 210 (-) [18] | [] | |
| 受験者数 | 195 (-) [7] | 5 (-) [5] | 205 (-) [18] | [] | |
| 合格者数 | 190 (-) [7] | 5 (-) [5] | 187 (-) [12] | [] | |
| B 入学者数 | 177 (-) [6] | 5 (-) [5] | 169 (-) [10] | [] | |
| 入学定員超過率 B/A | 0.97 | 1.00 | 0.93 | | |

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

| 学 年 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 備 考 |
|-----|---|---------------------|------------------------|---------------------|--|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| 1年次 | 177 [7 6] (-) | 5 [5] (-) | 169 [10] (-) | 5 [5] (-) | 平成28年度春季入学1年次の留学生数は、在留資格の間違いによる訂正 (29) 平成28年度春季入学者6名 (うち1名は留学生) 退学 (29) |
| 2年次 | / | | 171 [5] (-) | [] () | |
| 3年次 | | | / | | |
| 計 | 177 182 [7 11] (-) | | | | |

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 入学者数(b) | 退学者数(a) | 退学者数(内訳) | | | 主な退学理由 | 入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b) |
|---------------|---------|---------|----------|----------|-----------------|--|----------------------------------|
| | | | 退学した年度 | 退学者数 | 退学者数の うち留学生数 | | |
| 平成28年度 入学者 | 182 人 | 6 人 | 平成28年度 | 6 9 人 | 1 0 人 | 就職(3人)、他の教育機関へ入学(1人)、 就学意欲の低下(1人)、家庭の事情(1人) | 3.29 % |
| | | | 平成29年度 | 0 人 | 0 人 | | |
| 平成29年度 入学者 | 169 人 | 0 人 | 平成29年度 | 0 人 | 0 人 | | 0.00 % |
| 合 計 | 351 人 | 6 人 | | | | | 1.70 % |

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医工農学総合教育部 工学専攻（修士課程）>

(1) 授業科目表

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|-----------|------------------------------|--------------|-----|--------|----|----------|-----|----|----|----|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 大学院共通科目 | 科学者倫理 | 1前 | 1 | | | | | | | | | 兼 4 担当教員香川知晶（教授）の退職に伴う変更（29） 兼 3 |
| | キャリアマネジメント サイエンスコミュニケーション | 1前 1後 | | 1 1 | | 2 1 | | | | | | 兼 1 兼 2 共同 |
| 専攻共通科目 | 総合工学特論 | 1前 | 1 | | | 6 | 1 | | | | | オムニバス 担当教員の退職により、教員を追加（29） 担当 藤森 篤（教授） 担当 鍋谷 暢一（教授） 平成29年4月 担当教員 園家啓嗣（教授）、秋津哲也（教授）が定年退職したため（29） |
| | 実験計画とデータ処理 | 1前 | | 1 | | | 1 | | | | | 兼 1 |
| | 数値計算特論 | 1前 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| | 技術経営システム特論 | 1後 | | 1 | | | | | | | | |
| | 応用数学演習 | 1前 | | 1 | | 2 | | | | | | オムニバス |
| | インターンシップI | 1・2通 | | 1 | | 7 | | | | | | |
| | インターンシップII | 1・2通 | | 1 | | 7 | | | | | | |
| | 研究発表特論A 研究発表特論B | 1・2通 1・2通 | | 1 1 | | 7 7 | | | | | | |
| (機械工学コース) | | | | | | | | | | | | |
| 機械工学コース科目 | 熱工学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | オムニバス |
| | 機械力学・制御特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | オムニバス |
| | 流体力学特論 | 1前 | | 2 | | | 2 | | | | | オムニバス |
| | 材料力学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | オムニバス 准教授から教授に昇任（29） 担当 吉原 正一郎（教授） 平成29年1月 教授昇任 |
| | 加工学特論 | 1後 | | 2 | | 1 3 | 1 | | | | | オムニバス 担当教員 園家啓嗣（教授）、萩原親作（教授）が定年退職したため（29） |
| | 機械材料学特論 | 1後 | | 2 | | 1 2 | 1 | | | | | オムニバス 担当教員 園家啓嗣（教授）が定年退職したため（29） |
| | 機械システム工学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | オムニバス |
| 専門発展科目 | 機械工学特別講義I 機械工学特別講義II | 1・2通 1・2通 | | 1 1 | | 1 1 | | | | | | |
| | 機械工学演習第一A | 1前 | 1 | | | 5 6 | 8 | | | | | 准教授から教授に昇任（29） 担当 吉原 正一郎（教授） 平成29年1月 教授昇任 担当教員の退職により、教員を追加（29） 担当 船谷 俊平（准教授） 平成29年4月 担当教員 園家啓嗣（教授）、萩原親作（教授）が定年退職したため（29） |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年度 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|-------------------------|---------------------------------|----------------|-----|-------------|----|-------------|-----|----|----|----|----|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 機械工学 専門発展科目 コース科目 | 機械工学演習第一B | 1後 | 1 | | | 5 6 | 8 | | | | | <p>准教授から教授に昇任 (29)</p> <p>〔担当 吉原 正一郎 (教授) 平成29年1月 教授昇任 担当教員の退職により、教員を追加 (29) 担当 船谷 俊平 (准教授) 平成29年4月 担当教員 園家啓嗣 (教授)、萩原親作 (教授) が定年退職したため (29)</p> |
| | 機械工学演習第二A | 2前 | 1 | | | 5 6 | 8 | | | | | <p>准教授から教授に昇任 (29)</p> <p>〔担当 吉原 正一郎 (教授) 平成29年1月 教授昇任 担当教員の退職により、教員を追加 (29) 担当 船谷 俊平 (准教授) 平成29年4月 担当教員 園家啓嗣 (教授)、萩原親作 (教授) が定年退職したため (29)</p> |
| | 機械工学演習第二B | 2後 | 1 | | | 5 6 | 8 | | | | | <p>准教授から教授に昇任 (29)</p> <p>〔担当 吉原 正一郎 (教授) 平成29年1月 教授昇任 担当教員の退職により、教員を追加 (29) 担当 船谷 俊平 (准教授) 平成29年4月 担当教員 園家啓嗣 (教授)、萩原親作 (教授) が定年退職したため (29)</p> |
| | 機械工学研究第一A | 1前 | 2 | | | 5 6 | 8 | | | | | <p>准教授から教授に昇任 (29)</p> <p>〔担当 吉原 正一郎 (教授) 平成29年1月 教授昇任 担当教員の退職により、教員を追加 (29) 担当 船谷 俊平 (准教授) 平成29年4月 担当教員 園家啓嗣 (教授)、萩原親作 (教授) が定年退職したため (29)</p> |
| | 機械工学研究第一B | 1後 | 2 | | | 5 6 | 8 | | | | | <p>准教授から教授に昇任 (29)</p> <p>〔担当 吉原 正一郎 (教授) 平成29年1月 教授昇任 担当教員の退職により、教員を追加 (29) 担当 船谷 俊平 (准教授) 平成29年4月 担当教員 園家啓嗣 (教授)、萩原親作 (教授) が定年退職したため (29)</p> |
| | 機械工学研究第二A | 2前 | 2 | | | 5 6 | 8 | | | | | <p>准教授から教授に昇任 (29)</p> <p>〔担当 吉原 正一郎 (教授) 平成29年1月 教授昇任 担当教員の退職により、教員を追加 (29) 担当 船谷 俊平 (准教授) 平成29年4月 担当教員 園家啓嗣 (教授)、萩原親作 (教授) が定年退職したため (29)</p> |
| | 機械工学研究第二B | 2後 | 2 | | | 5 6 | 8 | | | | | <p>准教授から教授に昇任 (29)</p> <p>〔担当 吉原 正一郎 (教授) 平成29年1月 教授昇任 担当教員の退職により、教員を追加 (29) 担当 船谷 俊平 (准教授) 平成29年4月 担当教員 園家啓嗣 (教授)、萩原親作 (教授) が定年退職したため (29)</p> |
| 他 コース科目 関連科目 | ロボット工学特論 物理化学特論 医療・福祉機器特論 | 1前 1後 1前 | | 2 2 2 | | 1 1 2 | 1 | | | | | <p>オムニバス オムニバス</p> |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|--------------|-----------------|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| (電気電子工学コース) | | | | | | | | | | | | |
| 電気電子工学コース科目 | 光波工学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | オムニバス |
| | 量子工学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | オムニバス |
| | 電子デバイス工学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | オムニバス |
| | 結晶工学特論 | 1前 | | 2 | | 2 | 1 | | | | | オムニバス 准教授から教授に昇任 (28) 担当 鍋谷 暢一 (教授) 平成28年4月 教授昇任 |
| | 信号システム工学特論 | 1前 | | 2 | | 2 | | | | | | オムニバス |
| | 回路工学特論 | 1後 | | 2 | | | 1 | | | | | オムニバス |
| | 計測工学特論 | 1前 | | 2 | | | 2 | | | | | オムニバス |
| | 発送電工学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | 担当教員の退職により、教員を追加 (29) 担当 宇野 和行 (准教授) 平成29年4月 担当教員 秋津哲也 (教授) が定年退職したため (29) |
| | パワー半導体モジュール工学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | 兼 4 共同 |
| | 電気電子工学特別講義I | 1・2通 | | 1 | | | | | | | | 兼 8 |
| 電気電子工学特別講義II | 1・2通 | | 1 | | | | | | | | 兼 8 | |
| 電気電子工学演習第一A | 1前 | 1 | | | 7 | 9 | 8 | | | | 共同 准教授から教授に昇任 (28) 担当 鍋谷 暢一 (教授) 平成28年4月 教授昇任 担当教員の退職により、教員を追加 (29) 担当 宇野 和行 (准教授) 担当 關谷 尚人 (准教授) 平成29年4月 担当教員 秋津哲也 (教授) が定年退職したため (29) | |
| 電気電子工学演習第一B | 1後 | 1 | | | 7 | 9 | 8 | | | | 共同 准教授から教授に昇任 (28) 担当 鍋谷 暢一 (教授) 平成28年4月 教授昇任 担当教員の退職により、教員を追加 (29) 担当 宇野 和行 (准教授) 担当 關谷 尚人 (准教授) 平成29年4月 担当教員 秋津哲也 (教授) が定年退職したため (29) | |
| 電気電子工学演習第二A | 2前 | 1 | | | 7 | 9 | 8 | | | | 共同 准教授から教授に昇任 (28) 担当 鍋谷 暢一 (教授) 平成28年4月 教授昇任 担当教員の退職により、教員を追加 (29) 担当 宇野 和行 (准教授) 担当 關谷 尚人 (准教授) 平成29年4月 担当教員 秋津哲也 (教授) が定年退職したため (29) | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|---------------------------|--------------------------------------|----------------|-----|-------------|----|-------------|--------|-------------|----|----|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 電気電子工学 専門発展科目 コース科目 | 電気電子工学演習第二B | 2後 | 1 | | | 7 | 9 8 | | | | | <p>共同</p> <p>准教授から教授に昇任 (28)</p> <p>担当 鍋谷 暢一 (教授)</p> <p>平成28年4月 教授昇任</p> <p>担当教員の退職により、教員を追加 (29)</p> <p>担当 宇野 和行 (准教授)</p> <p>担当 關谷 尚人 (准教授)</p> <p>平成29年4月</p> <p>担当教員 秋津哲也 (教授) が定年退職したため (29)</p> |
| | 電気電子工学研究第一A | 1前 | 2 | | | 7 | 9 8 | | | | | <p>共同</p> <p>准教授から教授に昇任 (28)</p> <p>担当 鍋谷 暢一 (教授)</p> <p>平成28年4月 教授昇任</p> <p>担当教員の退職により、教員を追加 (29)</p> <p>担当 宇野 和行 (准教授)</p> <p>担当 關谷 尚人 (准教授)</p> <p>平成29年4月</p> <p>担当教員 秋津哲也 (教授) が定年退職したため (29)</p> |
| | 電気電子工学研究第一B | 1後 | 2 | | | 7 | 9 8 | | | | | <p>共同</p> <p>准教授から教授に昇任 (28)</p> <p>担当 鍋谷 暢一 (教授)</p> <p>平成28年4月 教授昇任</p> <p>担当教員の退職により、教員を追加 (29)</p> <p>担当 宇野 和行 (准教授)</p> <p>担当 關谷 尚人 (准教授)</p> <p>平成29年4月</p> <p>担当教員 秋津哲也 (教授) が定年退職したため (29)</p> |
| | 電気電子工学研究第二A | 2前 | 2 | | | 7 | 9 8 | | | | | <p>共同</p> <p>准教授から教授に昇任 (28)</p> <p>担当 鍋谷 暢一 (教授)</p> <p>平成28年4月 教授昇任</p> <p>担当教員の退職により、教員を追加 (29)</p> <p>担当 宇野 和行 (准教授)</p> <p>担当 關谷 尚人 (准教授)</p> <p>平成29年4月</p> <p>担当教員 秋津哲也 (教授) が定年退職したため (29)</p> |
| | 電気電子工学研究第二B | 2後 | 2 | | | 7 | 9 8 | | | | | <p>共同</p> <p>准教授から教授に昇任 (28)</p> <p>担当 鍋谷 暢一 (教授)</p> <p>平成28年4月 教授昇任</p> <p>担当教員の退職により、教員を追加 (29)</p> <p>担当 宇野 和行 (准教授)</p> <p>担当 關谷 尚人 (准教授)</p> <p>平成29年4月</p> <p>担当教員 秋津哲也 (教授) が定年退職したため (29)</p> |
| 他 コース科目 関連科目 | インターネット工学特論 大規模離散構造処理特論 機械学習特論 | 1前 1前 1前 | | 2 2 2 | | 1 1 1 | | 1 1 1 | | | | オムニバス |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当 年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|--------------------------|-----------------|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|---|----------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| (コンピュータ理工学コース) | | | | | | | | | | | | |
| コンピュータ理工学コース科目 専門発展科目 | 大規模離散構造処理特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | オムニバス |
| | ソフトウェア工学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | オムニバス |
| | 並列コンピューティング特論 | 1後 | | 2 | | | 2 | | | | | オムニバス |
| | インターネット工学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | 機械学習特論 | 1前 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | ビジュアル情報処理特論 | 1後 | | 2 | | 2 | | | | | | オムニバス |
| | 言語・音声情報処理特論 | 1前 | | 2 | | 2 | | | | | | オムニバス |
| | ユーザ中心設計学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | オムニバス |
| | コンピュータ理工学特別講義I | 1・2通 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| | コンピュータ理工学特別講義II | 1・2通 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| コンピュータ理工学演習第一A | 1前 | 1 | | | 8 | 8 | 7 | | | | 教育充実のため、教員を追加(29) 担当 豊浦 正広(准教授) 平成29年4月 | |
| コンピュータ理工学演習第一B | 1後 | 1 | | | 8 | 8 | 7 | | | | 教育充実のため、教員を追加(29) 担当 豊浦 正広(准教授) 平成29年4月 | |
| コンピュータ理工学演習第二A | 2前 | 1 | | | 8 | 8 | 7 | | | | 教育充実のため、教員を追加(29) 担当 豊浦 正広(准教授) 平成29年4月 | |
| コンピュータ理工学演習第二B | 2後 | 1 | | | 8 | 8 | 7 | | | | 教育充実のため、教員を追加(29) 担当 豊浦 正広(准教授) 平成29年4月 | |
| コンピュータ理工学研究第一A | 1前 | 2 | | | 8 | 8 | 7 | | | | 教育充実のため、教員を追加(29) 担当 豊浦 正広(准教授) 平成29年4月 | |
| コンピュータ理工学研究第一B | 1後 | 2 | | | 8 | 8 | 7 | | | | 教育充実のため、教員を追加(29) 担当 豊浦 正広(准教授) 平成29年4月 | |
| コンピュータ理工学研究第二A | 2前 | 2 | | | 8 | 8 | 7 | | | | 教育充実のため、教員を追加(29) 担当 豊浦 正広(准教授) 平成29年4月 | |
| コンピュータ理工学研究第二B | 2後 | 2 | | | 8 | 8 | 7 | | | | 教育充実のため、教員を追加(29) 担当 豊浦 正広(准教授) 平成29年4月 | |
| 他コース科目 関連科目 | 有機化学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | オムニバス |
| | 信号システム工学特論 | 1前 | | 2 | | 2 | | | | | | オムニバス |
| | 災害マネジメント工学 | 1前 | | 2 | | 2 | 2 | | | | | オムニバス |
| | 流域医工学特論 | 1通 | | 2 | | | 2 | | | | | オムニバス |
| | 先端科学技術特論 | 1・2通 | | 1 | | | | 2 | | | | 兼4 兼1 |
| | 社会医学概論 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 兼2 |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|----------------------|------------------------|----------------|------|----|----|----------|-----|----|----|----|----|-----------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| (メカトロニクス工学コース) | | | | | | | | | | | | |
| メカトロニクス工学コース 専門科目 | メカトロニクス工学特論 | 1前 | 2 | | | 1 | 1 | | | | | オムニバス |
| | ロボット工学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | 人間工学特論 | 1前 | | 2 | | | | 4 | | | | オムニバス |
| | 組み込みシステム設計特論 | 1前 | | 2 | | 2 | 1 | | | | | オムニバス |
| | 材料工学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | オムニバス |
| | アクチュエータ工学特論 | 1前 | | 2 | | 2 | 1 | | | | | オムニバス |
| | 電磁波工学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | オムニバス |
| | 通信制御ネットワーク特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | オムニバス |
| | 医療・福祉機器特論 | 1前 | | 2 | | 2 | | | | | | オムニバス |
| | メカトロニクス工学コース 専門発展科目 | メカトロニクス工学特別講義I | 1・2通 | | 1 | | 1 | | | | | |
| メカトロニクス工学特別講義II | | 1・2通 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| メカトロニクス工学演習第一A | | 1前 | 1 | | | 7 | 8 | | | | | |
| メカトロニクス工学演習第一B | | 1後 | 1 | | | 7 | 8 | | | | | |
| メカトロニクス工学演習第二A | | 2前 | 1 | | | 7 | 8 | | | | | |
| メカトロニクス工学演習第二B | | 2後 | 1 | | | 7 | 8 | | | | | |
| メカトロニクス工学研究第一A | | 1前 | 2 | | | 7 | 8 | | | | | |
| メカトロニクス工学研究第一B | | 1後 | 2 | | | 7 | 8 | | | | | |
| メカトロニクス工学研究第二A | | 2前 | 2 | | | 7 | 8 | | | | | |
| メカトロニクス工学研究第二B | | 2後 | 2 | | | 7 | 8 | | | | | |
| 他コース科目 関連科目 | 人体形態・機能学概論 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 兼 2 オムニバス |
| | ユーザ中心設計学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | オムニバス |
| | 環境科学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | 兼 1 共同 |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年度 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|-------------|------------------|-------------|-----|----|----|----------|----------|----------|----|----|----|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| (土木環境工学コース) | | | | | | | | | | | | |
| 土木環境工学コース科目 | シビルマネジメント基礎 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | 兼4 共同担当教員の見直しのため(28) |
| | シビルマネジメント工学社会実践 | 1後 | | 2 | | 5 4 | 6 8 | | | | | 兼4 共同担当教員の見直しのため(28) |
| | 災害マネジメント工学 | 1前 | | 2 | | 2 | 2 | | | | | 兼5 共同担当教員の見直しのため(28) |
| | 地域防災リーダー研修(特別講義) | 1通 | | 2 | | 2 | 3 | | | | | 兼5 共同担当教員の見直しのため(28) |
| | 土木エンジニアのための力学 | 1前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | 兼5 共同担当教員の見直しのため(28) |
| | 社会基盤維持管理工学 | 1後 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | 兼5 共同担当教員の見直しのため(28) |
| | まちづくり工学 | 1前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | 兼5 共同担当教員の見直しのため(28) |
| | 環境保全工学 | 1後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | 兼5 共同担当教員の見直しのため(28) |
| | 国際環境技術I | 1前 | | 2 | | 2 | 1 | 2 | | | | 兼5 共同担当教員の見直しのため(28) |
| | 環境データ分析I | 1前 | | 1 | | 1 | 2 | | | | | 兼5 共同担当教員の見直しのため(28) |
| | リモートセンシングと地理情報I | 1後 | | 1 | | 1 | 1 | | | | | 兼5 共同担当教員の見直しのため(28) |
| | 流域医工学特論 | 1通 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | 兼5 共同担当教員の見直しのため(28) |
| | 流域管理特論 | 1後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | 兼5 共同担当教員の見直しのため(28) |
| | 水文水資源学特論 | 1前 | | 2 | | 2 | 1 | | | | | 兼5 共同担当教員の見直しのため(28) |
| | 陸水水質評価特論 | 1後 | | 2 | | 3 2 | 1 2 | | | | | 兼5 共同担当教員の見直しのため(28) |
| | 環境浄化技術特論 | 1後 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | 兼5 共同担当教員の見直しのため(28) |
| | 専門発展科目 | 土木環境工学演習第一A | 1前 | 1 | | | 9 8 | 10 13 | | | | |
| 土木環境工学演習第一B | | 1後 | 1 | | | 9 8 | 10 13 | | | | | 兼3 オムニバス 准教授から教授に昇任(29) 担当 西田 継(教授) 平成28年12月 教授昇任 担当 齊藤 成彦(教授) 平成29年1月 教授昇任 担当教員 平山公明(教授)が定年退職したため(29) |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|---------------------------------|-------------|------|-----|----|----|----------|----------|----|----|----|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 土木環境工学 専門発展科目 土木環境工学コース科目 | 土木環境工学演習第二A | 1・2前 | 1 | | | 9 8 | 10 13 | | | | | <p>担当教員 高橋良輔（准教授）が辞職したため（28）</p> <p>准教授から教授に昇任（29）</p> <p>〔担当 西田 継（教授） 平成28年12月 教授昇任 担当 齊藤 成彦（教授） 平成29年1月 教授昇任 担当教員 平山公明（教授）が定年退職したため（29）〕</p> |
| | 土木環境工学演習第二B | 1・2後 | 1 | | | 9 8 | 10 13 | | | | | <p>担当教員 高橋良輔（准教授）が辞職したため（28）</p> <p>准教授から教授に昇任（29）</p> <p>〔担当 西田 継（教授） 平成28年12月 教授昇任 担当 齊藤 成彦（教授） 平成29年1月 教授昇任 担当教員 平山公明（教授）が定年退職したため（29）〕</p> |
| | 土木環境工学研究第一A | 1前 | 2 | | | 9 8 | 10 13 | | | | | <p>担当教員 高橋良輔（准教授）が辞職したため（28）</p> <p>准教授から教授に昇任（29）</p> <p>〔担当 西田 継（教授） 平成28年12月 教授昇任 担当 齊藤 成彦（教授） 平成29年1月 教授昇任 担当教員 平山公明（教授）が定年退職したため（29）〕</p> |
| | 土木環境工学研究第一B | 1後 | 2 | | | 9 8 | 10 13 | | | | | <p>担当教員 高橋良輔（准教授）が辞職したため（28）</p> <p>准教授から教授に昇任（29）</p> <p>〔担当 西田 継（教授） 平成28年12月 教授昇任 担当 齊藤 成彦（教授） 平成29年1月 教授昇任 担当教員 平山公明（教授）が定年退職したため（29）〕</p> |
| | 土木環境工学研究第二A | 1・2前 | 2 | | | 9 8 | 10 13 | | | | | <p>担当教員 高橋良輔（准教授）が辞職したため（28）</p> <p>准教授から教授に昇任（29）</p> <p>〔担当 西田 継（教授） 平成28年12月 教授昇任 担当 齊藤 成彦（教授） 平成29年1月 教授昇任 担当教員 平山公明（教授）が定年退職したため（29）〕</p> |
| | 土木環境工学研究第二B | 1・2後 | 2 | | | 9 8 | 10 13 | | | | | <p>担当教員 高橋良輔（准教授）が辞職したため（28）</p> <p>准教授から教授に昇任（29）</p> <p>〔担当 西田 継（教授） 平成28年12月 教授昇任 担当 齊藤 成彦（教授） 平成29年1月 教授昇任 担当教員 平山公明（教授）が定年退職したため（29）〕</p> |
| 他 コース科目 | 人間工学特論 | 1前 | | 2 | | | 4 | | | | | オムニバス |
| | 医療・福祉機器特論 | 1前 | | 2 | | 2 | | | | | | オムニバス |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|------------|-------------|------|-----|----|----------|----------|--------|----|----|----|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| (応用化学コース) | | | | | | | | | | | | |
| 専門科目 | 有機化学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | オムニバス |
| | 無機化学特論第一 | 1前 | | 2 | | | 2 | | | | | オムニバス |
| | 無機化学特論第二 | 1後 | | 2 | | 2 | 2 | | | | | オムニバス 准教授から教授に昇任 (28) 担当 柳 博 (教授) 平成28年4月 教授昇任 |
| | 分析化学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | オムニバス 担当教員 小泉均 (准教授) が定年退職したため (29) |
| | 物理化学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | オムニバス |
| | 高分子化学特論 | 1後 | | 2 | | 2 | 1 | | | | | オムニバス |
| | エネルギー量子化学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | オムニバス |
| | 燃料電池設計科学特論 | 1後 | | 2 | | 2 | 1 | | | | | オムニバス |
| | 応用化学特別講義 | 1・2通 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| | 応用化学演習第一A | 1前 | 1 | | | 11 10 | 7 9 | | | | | 准教授から教授に昇任 (28) 担当 柳 博 (教授) 平成28年4月 教授昇任 担当教員 小泉均 (准教授) が定年退職したため (29) |
| 応用化学演習第一B | 1後 | 1 | | | 11 10 | 7 9 | | | | | 准教授から教授に昇任 (28) 担当 柳 博 (教授) 平成28年4月 教授昇任 担当教員 小泉均 (准教授) が定年退職したため (29) | |
| 応用化学演習第二A | 2前 | 1 | | | 11 10 | 7 9 | | | | | 准教授から教授に昇任 (28) 担当 柳 博 (教授) 平成28年4月 教授昇任 担当教員 小泉均 (准教授) が定年退職したため (29) | |
| 応用化学演習第二B | 2後 | 1 | | | 11 10 | 7 9 | | | | | 准教授から教授に昇任 (28) 担当 柳 博 (教授) 平成28年4月 教授昇任 担当教員 小泉均 (准教授) が定年退職したため (29) | |
| 応用化学研究第一A | 1前 | 2 | | | 11 10 | 7 9 | | | | | 准教授から教授に昇任 (28) 担当 柳 博 (教授) 平成28年4月 教授昇任 担当教員 小泉均 (准教授) が定年退職したため (29) | |
| 応用化学研究第一B | 1後 | 2 | | | 11 10 | 7 9 | | | | | 准教授から教授に昇任 (28) 担当 柳 博 (教授) 平成28年4月 教授昇任 担当教員 小泉均 (准教授) が定年退職したため (29) | |
| 応用化学研究第二A | 2前 | 2 | | | 11 10 | 7 9 | | | | | 准教授から教授に昇任 (28) 担当 柳 博 (教授) 平成28年4月 教授昇任 担当教員 小泉均 (准教授) が定年退職したため (29) | |
| 応用化学研究第二B | 2後 | 2 | | | 11 10 | 7 9 | | | | | 准教授から教授に昇任 (28) 担当 柳 博 (教授) 平成28年4月 教授昇任 担当教員 小泉均 (准教授) が定年退職したため (29) | |
| 他 コース科目 | 機能性材料開発特論 | 1前 | | 2 | | 3 | | | | | | オムニバス |
| | 電子デバイス工学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | オムニバス |
| | 機械材料学特論 | 1後 | | 2 | | 2 | 1 | | | | | オムニバス |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当 年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備 考 | | |
|----------------------------------|----------------------------|---------------|-----|-----|-----|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-------------------------------------|-------|
| | | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | 教 授 | 准教授 | 講 師 | 助 教 | 助 手 | | | |
| (先端材料理工学コース) | | | | | | | | | | | | | |
| 先端材料理工学コース 専門科目 専門 発展科目 | 物性物理学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | オムニバス | |
| | 量子デバイス特論 | 1前 | | 2 | | 1 2 | 1 | | | | | オムニバス 担当教員 中川清和（教授）が定年退職したため（29） | |
| | フォトニクス特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | オムニバス | |
| | エレクトロニクス特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | オムニバス | |
| | 量子材料科学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | オムニバス | |
| | 機能性材料開発特論 | 1前 | | 2 | | 3 | | | | | | オムニバス | |
| | 固体構造化学特論 | 1前 | | 2 | | | 3 | | | | | オムニバス | |
| | 先端材料理工学特別講義I | 1・2通 1-2集中 | | 1 | | 1 | | | | | | (28) | |
| | 先端材料理工学特別講義II | 1・2通 1-2集中 | | 1 | | 1 | | | | | | (28) | |
| | 先端材料理工学演習第一A | 1前 | 1 | | | 8 9 | 12 | | | | | 担当教員 中川清和（教授）が定年退職したため（29） | |
| | 先端材料理工学演習第一B | 1後 | 1 | | | 8 9 | 12 | | | | | 担当教員 中川清和（教授）が定年退職したため（29） | |
| | 先端材料理工学演習第二A | 2前 | 1 | | | 8 9 | 12 | | | | | 担当教員 中川清和（教授）が定年退職したため（29） | |
| | 先端材料理工学演習第二B | 2後 | 1 | | | 8 9 | 12 | | | | | 担当教員 中川清和（教授）が定年退職したため（29） | |
| | 先端材料理工学研究第一A | 1前 | 2 | | | 8 9 | 12 | | | | | 担当教員 中川清和（教授）が定年退職したため（29） | |
| | 先端材料理工学研究第一B | 1後 | 2 | | | 8 9 | 12 | | | | | 担当教員 中川清和（教授）が定年退職したため（29） | |
| | 先端材料理工学研究第二A | 2前 | 2 | | | 8 9 | 12 | | | | | 担当教員 中川清和（教授）が定年退職したため（29） | |
| | 先端材料理工学研究第二B | 2後 | 2 | | | 8 9 | 12 | | | | | 担当教員 中川清和（教授）が定年退職したため（29） | |
| | 他 コース 科目 関連 科目 | 固体材料科学特論 | 1後 | | 2 | | 2 | | | | | | オムニバス |
| | | 先端無機材料設計特論 | 1後 | | 2 | | 2 | | | | | | オムニバス |
| 電子デバイス工学特論 | | 1後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | オムニバス | |
| 機械材料科学特論 | | 1後 | | 2 | | 2 | 1 | | | | | オムニバス | |
| 材料工学特論 | | 1前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | オムニバス | |
| 人間工学特論 | | 1前 | | 2 | | | 4 | | | | | オムニバス | |
| 高分子化学特論 | | 1後 | | 2 | | 2 | 1 | | | | | オムニバス | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当 年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|--------------------------|---------------|----------------------|------|----|----|----------|-----|----|----|--|-----|--------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| (グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム) | | | | | | | | | | | | |
| グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム科目 | 専門科目 | 電磁気学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | 兼 1 共同 |
| | | 量子科学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | | 物理化学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | 共同 |
| | | 無機化学特論 | 1後 | | 2 | | 2 | | | | | 共同 |
| | | 材料物理特論 | 1前 | | 2 | | 3 | | | | | 共同 |
| | | 材料化学特論 | 1前 | | 2 | | 3 | | | | | 共同 |
| | | 触媒科学特論 | 1前 | | 2 | | 2 | | | | | 共同 |
| | | 環境科学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | 共同 |
| | | 材料工学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | | 燃料電池設計特論 | 1後 | | 2 | | 2 | | | | | 共同 |
| | | 電極触媒設計特論 | 1後 | | 2 | | 2 | 1 | | | | 共同 |
| | | 太陽エネルギー変換工学特論 | 1前 | | 2 | | 2 | | | | | 共同 |
| | | 半導体量子科学特論 | 1後 | | 2 | | 2 | 1 | | | | 兼 1 共同 |
| | | 固体材料科学特論 | 1後 | | 2 | | 2 | | | | | 共同 |
| | | 先端無機材料設計特論 | 1後 | | 2 | | 2 | | | | | 共同 |
| | 表面・界面科学特論 | 1前 | | 2 | | 2 | | | | | 共同 | |
| | マイクロ・ナノ材料工学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | 高分子材料化学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | 共同 | |
| | 専門発展科目 | エネルギー貯蔵システム工学特論 | 1・2通 | | 1 | | | | | | | 兼 1 |
| | | エネルギー材料科学特論 | 1・2通 | | 1 | | | | | | | 兼 2 共同 |
| | | 太陽電池化学特論 | 1・2通 | | 1 | | | | | | | 兼 1 |
| | | 応用電気化学特論 | 1・2通 | | 1 | | | | | | | 兼 1 |
| | | ナノ電極材料工学特論 | 1・2通 | | 1 | | | | | | | 兼 1 |
| | | グリーンエネルギー科学・技術英語特論初級 | 1前 | 2 | | | 2 | | | | | 共同 |
| | | イノベーションマネジメント特論 | 1・2通 | | 1 | | | | | | | 兼 1 |
| エネルギー環境経済特論 | | 1・2通 | | 1 | | | | | | | 兼 1 | |
| 先端科学技術特論 | | 1・2通 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| 国際標準化特論 | | 1・2通 | | 1 | | | | | | | 兼 1 | |
| グリーンエネルギー変換工学特別講義 | 1・2通 | | 1 | | | | | | | 兼 3 | | |
| インターンシップ | 2通 | 2 | | | | | 20 | 1 | | | | |
| グリーンエネルギー工学演習第一 | 1後 | 1 | | | | | 23 | 2 | | 兼 7 共同 担当教員 渡辺政廣（教授）、出来成人（教授）が辞職したため（28） 担当教員 小宮山正晴（教授）が定年退職、脇坂暢（准教授）が辞職したため（29） | | |
| グリーンエネルギー工学演習第二 | 2前 | 1 | | | | | 20 | 1 | 2 | 兼 7 共同 担当教員 渡辺政廣（教授）、出来成人（教授）が辞職したため（28） 担当教員 小宮山正晴（教授）が定年退職、脇坂暢（准教授）が辞職したため（29） | | |
| グリーンエネルギー工学専門研究第一A | 1前 | 2 | | | | | 20 | 1 | 2 | 兼 7 共同 担当教員 渡辺政廣（教授）、出来成人（教授）が辞職したため（28） 担当教員 小宮山正晴（教授）が定年退職、脇坂暢（准教授）が辞職したため（29） | | |
| グリーンエネルギー工学専門研究第一B | 1後 | 2 | | | | | 20 | 1 | 2 | 兼 7 共同 担当教員 渡辺政廣（教授）、出来成人（教授）が辞職したため（28） 担当教員 小宮山正晴（教授）が定年退職、脇坂暢（准教授）が辞職したため（29） | | |
| グリーンエネルギー工学専門研究第二A | 2前 | 3 | | | | | 20 | 1 | 2 | 兼 7 共同 担当教員 渡辺政廣（教授）、出来成人（教授）が辞職したため（28） 担当教員 小宮山正晴（教授）が定年退職、脇坂暢（准教授）が辞職したため（29） | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当 年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備 考 | |
|------------------------------------|--------------------|----------|-----|-----|-----|----------|--------|-----|-----|-----|-----|--|
| | | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | 教 授 | 准教授 | 講 師 | 助 教 | 助 手 | | |
| グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム科目 専門発展科目 | グリーンエネルギー工学専門研究第二B | 2後 | 3 | | | 20 23 | 1 2 | | | | | 兼 7 共同 担当教員 渡辺政廣（教授）、出来成人（教授）が辞職したため（28） 担当教員 小宮山正晴（教授）が定年退職、脇坂暢（准教授）が辞職したため（29） |

- (注)
- ・ 設置計画書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に設置された大学等は設置時）より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備 考 |
|----------|-----------|---------|-----------|-------------------|--------------------|------------------|--------------------|-----|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計 | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 科目 67 | 科目 139 | 科目 0 | 科目 206 | 科目 67 [0] | 科目 139 [0] | 科目 0 [0] | 科目 206 [0] | |

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|-----------------|
| 1 | 該当なし | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|----------------|
| 1 | 該当なし | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

| |
|------|
| 該当なし |
|------|

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{206} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

| 区 分 | | 内 容 | | | | 備考 | | |
|---------------------|-----------------------|---|---|--|---|---|--|---|
| (1) 校 地 等 | 区 分 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | 隣接道路の拡張及び敷地等 の見直しのため(29) | | |
| | 校舎敷地 | 243,541 239,371 m ² | | m ² | m ² | | 243,541 239,371 m ² | |
| | 運動場用地 | 73,302m ² | | m ² | m ² | | 73,302m ² | |
| | 小 計 | 316,843 312,673 m ² | | m ² | m ² | | 316,843 312,673 m ² | |
| | そ の 他 | 252,708 257,977 m ² | | m ² | m ² | | 252,708 257,977 m ² | |
| | 合 計 | 569,551 570,650 m ² | | m ² | m ² | | 569,551 570,650 m ² | |
| (2) 校 舎 | | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | 隣接道路の拡張及び敷地等 の見直しのため(29) | | |
| | | 132,992 131,985 m ² | 0m ² (0m ²) | 0m ² (0m ²) | 132,992 131,985 m ² | | | |
| (3) 教 室 等 | 講 義 室 | 演 習 室 | 実験実習室 | 情報処理学習施設 | 語学学習施設 | 111室 28室 202室 7室 1室 (補助職員 0人) (補助職員 0人) | | |
| | | | | | | | | |
| (4) 専任教員研究室 | 新設学部等の名称 | | | 室 数 | | 専任教員の減少のため(29) | | |
| | 医工農学総合教育部 工学専攻(修士課程) | | | 128 135 室 | | | | |
| (5) 図 書 ・ 設 備 | 新設学部等の 名称 | 図 書 〔うち外国書〕 | 学術雑誌 〔うち外国書〕 | 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 | 視聴覚資料 | 機 械 ・ 器 具 | 標 本 | 【図書・視聴覚資料】 蔵書の整備のため(29) 【学術雑誌】 アグリゲータ型電子ジャー ナルの計上のため(29) 【機械・器具、標本】 機器の整備等による(29) |
| | | 冊 | 種 | 種 | 点 | 点 | 点 | |
| | 医工農学 総合教育部 工学専攻 | 561,756 [168,180] 578,164 [173,278] 561,756 [168,180] (564,024 [169,156]) | 23,582 [13,999] 13,873 [7,259] 23,582 [13,999] (13,371 [3,760]) | 10,276 [10,216] 7,543 [7,543] (5,070 [5,070]) | 4,915 4,696 4,915 (4,842) | 8,386 5,234 8,386 (-5,234) | 14 130 14 (130) | |
| | 計 | 561,756 [168,180] 578,164 [173,278] 561,756 [168,180] (564,024 [169,156]) | 23,582 [13,999] 13,873 [7,259] 23,582 [13,999] (13,371 [3,760]) | 10,276 [10,216] 7,543 [7,543] (5,070 [5,070]) | 4,915 4,696 4,915 (4,842) | 8,386 5,234 8,386 (-5,234) | 14 130 14 (130) | |
| (6) 図 書 館 | 面 積 | | 閱 覧 座 席 数 | | 収 納 可 能 冊 数 | | 収納スペース見直しのため (29) | |
| | 7,055m ² | | 523 | | 576,445 576,444 | | | |
| (7) 体 育 館 | 面 積 | | 体育館以外のスポーツ施設の概要 | | | | | |
| | 2,743m ² | | 野球場 2面、テニスコート 17面 小体育館、武道場、弓道場、プールほか | | | | | |
| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り | 区 分 | 開設年度 | 完成年度 | 区 分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 |
| | | 教員 1人当り研究費等 | 千円 | 千円 | 図書購入費 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 共 同 研 究 費 等 | 千円 | 千円 | 設備購入費 | 千円 | 千円 | 千円 | |
| | 学生 1人当り 納付金 | 第 1 年 次 | 第 2 年 次 | 第 3 年 次 | 第 4 年 次 | 第 5 年 次 | 第 6 年 次 | |
| | | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | |
| 学生納付金以外の維持方法の概要 | | | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

| 大学の名称 | 山梨大学 | | | | | | | 備考 | |
|----------------|----------|------------|------------|------------|---------------|-------------------|------------|----------------|------------------|
| 既設学部等の名称 | 修業 年限 | 入 学 定 員 | 編入学 定 員 | 収 容 定 員 | 学位又 は称号 | 平均入 学定員 超過率 | 開 設 年 度 | 所 在 地 | |
| | 年 | 人 | 年次 人 | 人 | | 倍 | | | |
| 教育学部 学校教育課程 | 4 | 125 | - | 500 | 学士(教育) | 1.04 | 平成10年度 | 山梨県甲府市武田4-4-37 | |
| 医学部 | | | | | | | | | |
| 医学科 | 6 | 125 | - | 750 | 学士(医学) | 1.00 | 昭和55年度 | 山梨県中央市下河東1110 | |
| 看護学科 | 4 | 60 | 3年次10 | 260 | 学士(看護学) | 0.87 | 平成7年度 | 〃 | |
| 工学部 | | | | | | | | | |
| 機械工学科 | 4 | 55 | 3年次10 | 240 | 学士(工学) | 1.01 | 平成24年度 | 山梨県甲府市武田4-3-11 | |
| 電気電子工学科 | 4 | 55 | 3年次5 | 230 | 学士(工学) | 1.05 | 〃 | 〃 | |
| コンピュータ理工学科 | 4 | 55 | 3年次5 | 230 | 学士(工学) | 1.02 | 〃 | 〃 | |
| 情報コミュニケーション工学科 | 4 | 55 | - | 220 | 学士(工学) | 1.05 | 〃 | 〃 | |
| 土木環境工学科 | 4 | 55 | - | 220 | 学士(工学) | 1.08 | 〃 | 〃 | |
| 応用化学科 | 4 | 55 | - | 220 | 学士(工学) | 1.07 | 〃 | 〃 | |
| 先端材料理工学科 | 4 | 35 | - | 140 | 学士(工学) | 1.07 | 〃 | 〃 | |
| 生命環境学部 | | | | | | | | | |
| 生命工学科 | 4 | 35 | - | 140 | 学士(生命工学) | 1.03 | 平成24年度 | 山梨県甲府市武田4-4-37 | |
| 地域食物科学科 | 4 | 37 | - | 134 | 学士(農学) | 1.07 | 〃 | 〃 | 平成28年度より入学定員7名増 |
| 環境科学科 | 4 | 30 | - | 120 | 学士(環境科学) | 1.09 | 〃 | 〃 | |
| 地域社会システム学科 | 4 | 48 | - | 166 | 学士(社会科学) | 1.08 | 〃 | 〃 | 平成28年度より入学定員13名増 |
| 教育学研究科 | | | | | | | | | |
| 教科教育専攻 | 2 | 22 | - | 44 | 修士(教育学) | 0.92 | 平成7年度 | 山梨県甲府市武田4-4-37 | |
| 教育支援科学専攻 | 2 | 6 | - | 12 | 修士(教育学) | 0.58 | 平成22年度 | 〃 | |
| 教育実践創成専攻 | 2 | 14 | - | 28 | 教職修士 (専門職) | 0.85 | 〃 | 〃 | |

| | | | | | | | | | |
|-----------------|---|-----|---|-----|--------------------------------|------|--------|----------------|----------------|
| 医学工学総合教育部 | | | | | | | | | |
| 【修士課程】 | | | | | | | | | |
| 看護学専攻 | 2 | - | - | - | 修士(看護学) | - | 〃 | 山梨県中央市下河東1110 | 平成28年度より学生募集停止 |
| 機械システム工学専攻 | 2 | - | - | - | 修士(工学) | - | 〃 | 山梨県甲府市武田4-3-11 | 〃 |
| 電気電子システム工学専攻 | 2 | - | - | - | 修士(工学) | - | 〃 | 〃 | 〃 |
| コンピュータサイエンス工学専攻 | 2 | - | - | - | 修士(工学) | - | 〃 | 〃 | 〃 |
| 応用化学専攻 | 2 | - | - | - | 修士(工学) | - | 平成20年度 | 〃 | 〃 |
| 生命工学専攻 | 2 | - | - | - | 修士(工学) | - | 〃 | 〃 | 〃 |
| 持続社会形成専攻 | 2 | - | - | - | 修士(工学) 修士(学術) | - | 平成17年度 | 〃 | 〃 |
| 人間システム工学専攻 | 2 | - | - | - | 修士(工学) | - | 平成21年度 | 〃 | 〃 |
| 医工農学総合教育部 | | | | | | | | | |
| 【修士課程】 | | | | | | | | | |
| 生命医科学専攻 | 2 | 10 | - | 20 | 修士(医科学) | 0.90 | 平成28年度 | 山梨県中央市下河東1110 | |
| 看護学専攻 | 2 | 14 | - | 28 | 修士(看護学) | 0.56 | 〃 | 〃 | |
| 工学専攻 | 2 | 181 | - | 362 | 修士(工学) | 0.96 | 〃 | 山梨県甲府市武田4-3-11 | |
| 生命環境学専攻 | 2 | 45 | - | 90 | 修士(農学) 修士(学術) | 1.02 | 〃 | 山梨県甲府市武田4-4-37 | |
| 【博士課程】 | | | | | | | | | |
| 先進医療科学専攻 | 4 | 17 | - | 68 | 博士(医学) | 1.40 | 平成15年度 | 山梨県中央市下河東1110 | |
| 生体制御学専攻 | 4 | 10 | - | 40 | 博士(医学) | 0.65 | 〃 | 〃 | |
| ヒューマンヘルスケア学専攻 | 3 | 4 | - | 12 | 博士(看護学) | 0.66 | 〃 | 〃 | |
| 人間環境医工学専攻 | 3 | 16 | - | 48 | 博士(医科学) 博士(医工学) 博士(情報科学) | 0.72 | 〃 | 山梨県甲府市武田4-3-11 | |
| 機能材料システム工学専攻 | 3 | 10 | - | 30 | 博士(工学) | 1.10 | 〃 | 〃 | |
| 情報機能システム工学専攻 | 3 | 9 | - | 27 | 博士(工学) | 0.25 | 〃 | 〃 | |
| 環境社会創生工学専攻 | 3 | 10 | - | 30 | 博士(工学) | 0.70 | 〃 | 〃 | |

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医工農学総合教育部 工学専攻（修士課程）>

(1) 担当教員表

| 設置時の計画 | | | | | 変更状況 | | | | | 備考 |
|------------|-----|--------|---------|--|------------|-----|--------|--------|--|----------------------------------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | |
| 専 | 教授 | 國家 啓嗣 | 平成28年4月 | 総合工学特論 加工学特論 機械材料学特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | 専 | 教授 | 國家 啓嗣 | | 総合工学特論 加工学特論 機械材料学特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | 平成29年3月31日 定年退職のため(29) |
| | | | | | 専 | 准教授 | 松谷 俊平 | | 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | 平成29年4月1日 教授退職のため担当追加 (29) |
| 専 | 教授 | 萩原 親作 | 平成28年4月 | 加工学特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | 専 | 教授 | 萩原 親作 | | 加工学特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | 平成29年3月31日 定年退職のため(29) |
| 専 | 教授 | 武田 哲明 | 平成28年4月 | 熱工学特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 藤森 篤 | 平成28年4月 | 機械力学・制御特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | 専 | 教授 | 藤森 篤 | | 総合工学特論 機械力学・制御特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | 平成29年4月1日 教授退職のため担当追加 (29) |
| 専 | 教授 | 中山 栄浩 | 平成28年4月 | 加工学特論 機械材料学特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 岡澤 重信 | 平成28年4月 | 機械システム工学特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 角田 博之 | 平成28年4月 | 流体力学特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 伊藤 安海 | 平成28年4月 | 材料力学特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 吉原 正一郎 | 平成28年4月 | 材料力学特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | 専 | 教授 | 吉原 正一郎 | | 材料力学特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | 平成29年1月1日 准教授から教授に昇任 (29) |
| 専 | 准教授 | 野田 善之 | 平成28年4月 | 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | | | | | | |

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 | | |
|---------|-----|--------|---------|---|---------|-----|--------|----|--|----------------------------------|
| 専任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | | 就任予定年月 | 担当授業科目名 |
| 専 | 准教授 | 山本 義暢 | 平成28年4月 | 流体力学特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 鳥山 孝司 | 平成28年4月 | 熱工学特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 青柳 潤一郎 | 平成28年4月 | 機械システム工学特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 孕石 泰丈 | 平成28年4月 | 加工学特論 機械材料学特論 機械工学演習第一A 機械工学演習第一B 機械工学演習第二A 機械工学演習第二B 機械工学研究第一A 機械工学研究第一B 機械工学研究第二A 機械工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 秋津 哲也 | 平成28年4月 | 電気電子工学特論 総合工学特論 電気電子工学演習第一A 電気電子工学演習第一B 電気電子工学演習第二A 電気電子工学演習第二B 電気電子工学研究第一A 電気電子工学研究第一B 電気電子工学研究第二A 電気電子工学研究第二B | 専 | 教授 | 秋津 哲也 | | 電気電子工学特論 総合工学特論 電気電子工学演習第一A 電気電子工学演習第一B 電気電子工学演習第二A 電気電子工学演習第二B 電気電子工学研究第一A 電気電子工学研究第一B 電気電子工学研究第二A 電気電子工学研究第二B | 平成29年3月31日 定年退職のため(29) |
| | | | | | 専 | 准教授 | 関谷 尚人 | | 電気電子工学演習第一A 電気電子工学演習第一B 電気電子工学演習第二A 電気電子工学演習第二B 電気電子工学研究第一A 電気電子工学研究第一B 電気電子工学研究第二A 電気電子工学研究第二B | 平成29年4月1日 教授退職のため担当追加 (29) |
| | | | | | 専 | 准教授 | 宇野 和行 | | 電気電子工学演習第一A 電気電子工学演習第一B 電気電子工学演習第二A 電気電子工学演習第二B 電気電子工学研究第一A 電気電子工学研究第一B 電気電子工学研究第二A 電気電子工学研究第二B | 平成29年4月1日 教授退職のため担当追加 (29) |
| 専 | 教授 | 豊木 博泰 | 平成28年4月 | 数値計算特論 電気電子工学演習第一A 電気電子工学演習第一B 電気電子工学演習第二A 電気電子工学演習第二B 電気電子工学研究第一A 電気電子工学研究第一B 電気電子工学研究第二A 電気電子工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 大木 真 | 平成28年4月 | 信号システム工学特論 電気電子工学演習第一A 電気電子工学演習第一B 電気電子工学演習第二A 電気電子工学演習第二B 電気電子工学研究第一A 電気電子工学研究第一B 電気電子工学研究第二A 電気電子工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 橋本 智香子 | 平成28年4月 | 量子工学特論 電気電子工学演習第一A 電気電子工学演習第一B 電気電子工学演習第二A 電気電子工学演習第二B 電気電子工学研究第一A 電気電子工学研究第一B 電気電子工学研究第二A 電気電子工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 矢野 浩司 | 平成28年4月 | 電子デバイス工学特論 パワー半導体モジュール工学特論 電気電子工学演習第一A 電気電子工学演習第一B 電気電子工学演習第二A 電気電子工学演習第二B 電気電子工学研究第一A 電気電子工学研究第一B 電気電子工学研究第二A 電気電子工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 垣尾 省司 | 平成28年4月 | 光工学特論 電気電子工学演習第一A 電気電子工学演習第一B 電気電子工学演習第二A 電気電子工学演習第二B 電気電子工学研究第一A 電気電子工学研究第一B 電気電子工学研究第二A 電気電子工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 埴 雅典 | 平成28年4月 | 信号システム工学特論 電気電子工学演習第一A 電気電子工学演習第一B 電気電子工学演習第二A 電気電子工学演習第二B 電気電子工学研究第一A 電気電子工学研究第一B 電気電子工学研究第二A 電気電子工学研究第二B | | | | | | |

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|------------|-----|-------------|---------|------------|----|--------|--------|--|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | |
| 専 | 准教授 | 鍋谷 暢一 | 平成28年4月 | 専 | 教授 | 鍋谷 暢一 | | 平成28年4月1日 准教授から教授に昇任 教授退職のため担当追加 (28) |
| | | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 白木 一郎 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 村中 司 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 小野島 紀夫 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 佐藤 隆英 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 二宮 啓 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 本間 聡 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | チェン リー チュイン | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 大淵 竜太郎 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 岩沼 宏治 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 福本 文代 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 美濃 英俊 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|------------|-----|--------|---------|------------|----|--------|--------|----|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | |
| 専 | 教授 | 茅 暁陽 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 小澤 賢司 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 高橋 正和 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 郷 健太郎 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 安藤 英俊 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 渡辺 喜道 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 鈴木 智博 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 服部 元信 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 鍋島 英知 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 小俣 昌樹 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 木下 雄一郎 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 古屋 信幸 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 宗久 知男 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 | |
|------------|-----|--------|---------|---|------------|----|--------|----|--------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | | 就任予定年月 |
| 専 | 教授 | 小谷 信司 | 平成28年4月 | 組込みシステム設計特論 医療・福祉機器特論 総合工学特論 メカトロニクス工学演習第一A メカトロニクス工学演習第一B メカトロニクス工学演習第二A メカトロニクス工学演習第二B メカトロニクス工学研究第一A メカトロニクス工学研究第一B メカトロニクス工学研究第二A メカトロニクス工学研究第二B | | | | | |
| 専 | 教授 | 森澤 正之 | 平成28年4月 | 通信制御ネットワーク特論 メカトロニクス工学演習第一A メカトロニクス工学演習第一B メカトロニクス工学演習第二A メカトロニクス工学演習第二B メカトロニクス工学研究第一A メカトロニクス工学研究第一B メカトロニクス工学研究第二A メカトロニクス工学研究第二B | | | | | |
| 専 | 教授 | 鈴木 良弥 | 平成28年4月 | 組込みシステム設計特論 メカトロニクス工学演習第一A メカトロニクス工学演習第一B メカトロニクス工学演習第二A メカトロニクス工学演習第二B メカトロニクス工学研究第一A メカトロニクス工学研究第一B メカトロニクス工学研究第二A メカトロニクス工学研究第二B | | | | | |
| 専 | 教授 | 寺田 英嗣 | 平成28年4月 | ロボット工学特論 医療・福祉機器特論 メカトロニクス工学演習第一A メカトロニクス工学演習第一B メカトロニクス工学演習第二A メカトロニクス工学演習第二B メカトロニクス工学研究第一A メカトロニクス工学研究第一B メカトロニクス工学研究第二A メカトロニクス工学研究第二B | | | | | |
| 専 | 教授 | 石井 孝明 | 平成28年4月 | 材料工学特論 アクチュエータ工学特論 メカトロニクス工学演習第一A メカトロニクス工学演習第一B メカトロニクス工学演習第二A メカトロニクス工学演習第二B メカトロニクス工学研究第一A メカトロニクス工学研究第一B メカトロニクス工学研究第二A メカトロニクス工学研究第二B | | | | | |
| 専 | 准教授 | 岡村 美好 | 平成28年4月 | 人間工学特論 メカトロニクス工学演習第一A メカトロニクス工学演習第一B メカトロニクス工学演習第二A メカトロニクス工学演習第二B メカトロニクス工学研究第一A メカトロニクス工学研究第一B メカトロニクス工学研究第二A メカトロニクス工学研究第二B | | | | | |
| 専 | 准教授 | 北村 敏也 | 平成28年4月 | 人間工学特論 アクチュエータ工学特論 メカトロニクス工学演習第一A メカトロニクス工学演習第一B メカトロニクス工学演習第二A メカトロニクス工学演習第二B メカトロニクス工学研究第一A メカトロニクス工学研究第一B メカトロニクス工学研究第二A メカトロニクス工学研究第二B | | | | | |
| 専 | 准教授 | 平 晋一郎 | 平成28年4月 | 材料工学特論 メカトロニクス工学演習第一A メカトロニクス工学演習第一B メカトロニクス工学演習第二A メカトロニクス工学演習第二B メカトロニクス工学研究第一A メカトロニクス工学研究第一B メカトロニクス工学研究第二A メカトロニクス工学研究第二B | | | | | |
| 専 | 准教授 | 丹沢 勉 | 平成28年4月 | 組込みシステム設計特論 通信制御ネットワーク特論 メカトロニクス工学演習第一A メカトロニクス工学演習第一B メカトロニクス工学演習第二A メカトロニクス工学演習第二B メカトロニクス工学研究第一A メカトロニクス工学研究第一B メカトロニクス工学研究第二A メカトロニクス工学研究第二B | | | | | |
| 専 | 准教授 | 清水 毅 | 平成28年4月 | 材料工学特論 メカトロニクス工学演習第一A メカトロニクス工学演習第一B メカトロニクス工学演習第二A メカトロニクス工学演習第二B メカトロニクス工学研究第一A メカトロニクス工学研究第一B メカトロニクス工学研究第二A メカトロニクス工学研究第二B | | | | | |
| 専 | 准教授 | 金 蓮花 | 平成28年4月 | 電磁波工学特論 メカトロニクス工学演習第一A メカトロニクス工学演習第一B メカトロニクス工学演習第二A メカトロニクス工学演習第二B メカトロニクス工学研究第一A メカトロニクス工学研究第一B メカトロニクス工学研究第二A メカトロニクス工学研究第二B | | | | | |
| 専 | 准教授 | 石田 和義 | 平成28年4月 | メカトロニクス工学特論 人間工学特論 通信制御ネットワーク特論 メカトロニクス工学演習第一A メカトロニクス工学演習第一B メカトロニクス工学演習第二A メカトロニクス工学演習第二B メカトロニクス工学研究第一A メカトロニクス工学研究第一B メカトロニクス工学研究第二A メカトロニクス工学研究第二B | | | | | |
| 専 | 准教授 | 西崎 博光 | 平成28年4月 | 通信制御ネットワーク特論 メカトロニクス工学演習第一A メカトロニクス工学演習第一B メカトロニクス工学演習第二A メカトロニクス工学演習第二B メカトロニクス工学研究第一A メカトロニクス工学研究第一B メカトロニクス工学研究第二A メカトロニクス工学研究第二B | | | | | |

| 設置時の計画 | | | | | 変更状況 | | | | | |
|------------|----|--------|---------|---|------------|----|--------|--------|--|---------------------------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 備考 |
| 専 | 教授 | 平山 公明 | 平成28年4月 | 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | 専 | 教授 | 平山一公明 | | 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | 平成29年3月31日 定年退職のため(29) |
| 専 | 教授 | 舩谷 敬一 | 平成28年4月 | リモートセンシングと地理情報I 水文水質環境特論 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 鈴木 猛康 | 平成28年4月 | シビルマネジメント工学社会実践 シビルマネジメント基礎 災害マネジメント工学 地域防災リーダー研修(特別講義) 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 佐々木 邦明 | 平成28年4月 | シビルマネジメント工学社会実践 まらぶくり工学 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 金子 栄廣 | 平成28年4月 | シビルマネジメント工学社会実践 環境保全工学 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 末次 忠司 | 平成28年4月 | シビルマネジメント工学社会実践 災害マネジメント工学 地域防災リーダー研修(特別講義) 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 佐藤 真久 | 平成28年4月 | 応用数学演習 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 小林 正樹 | 平成28年4月 | 応用数学演習 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 坂本 康 | 平成28年4月 | 流域管理特論 水文水質環境特論 陸水水質評価特論 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 風間 ふたば | 平成28年4月 | キャリアマネジメント 国際環境技術I 環境浄化技術特論 陸水水質評価特論 災害マネジメント工学 社会施設維持管理工学 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 | | |
|------------|-----|--------|---------|---|------------|-----|--------|---------|--|---------------------------------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | | 就任予定年月 | 担当授業科目名 |
| 専 | 准教授 | 平山 けい子 | 平成28年4月 | 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 後藤 聡 | 平成28年4月 | シビルマネジメント工学社会実践 災害マネジメント工学 地域防災リーダー研修(特別講義) 社会福祉特許管理工学 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 石井 信行 | 平成28年4月 | シビルマネジメント工学社会実践 まちづくり工学 総合工学特論 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 齊藤 成彦 | 平成28年4月 | シビルマネジメント工学社会実践 土木エンジニアのための力学 社会福祉特許管理工学 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | 専 | 教授 | 齊藤 成彦 | | シビルマネジメント工学社会実践 土木エンジニアのための力学 社会福祉特許管理工学 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | 平成29年1月1日 准教授から教授に昇任 (29) |
| 専 | 准教授 | 武藤 慎一 | 平成28年4月 | シビルマネジメント工学社会実践 まちづくり工学 高域管理特論 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 秦 康範 | 平成28年4月 | シビルマネジメント工学社会実践 災害マネジメント工学 地域防災リーダー研修(特別講義) 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 吉田 純司 | 平成28年4月 | シビルマネジメント工学社会実践 地域防災リーダー研修(特別講義) 土木エンジニアのための力学 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 相馬 一義 | 平成28年4月 | 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 遠山 忠 | 平成28年4月 | 環境浄化技術特論 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 高橋 良輔 | 平成28年4月 | シビルマネジメント工学社会実践 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | 専 | 准教授 | 高橋 良輔 | 平成28年4月 | シビルマネジメント工学社会実践 土木環境工学演習第一-A 土木環境工学演習第一-B 土木環境工学演習第二-A 土木環境工学演習第二-B 土木環境工学研究第一-A 土木環境工学研究第一-B 土木環境工学研究第二-A 土木環境工学研究第二-B | 平成28年3月31日 辞職のため(28) |

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 | | | |
|------------|-----|--------|---------|--|------------|----|--------|----|--------|---------|----------------------------------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | |
| 専 | 准教授 | 森 一博 | 平成28年4月 | シビルマシニング工学社会実践 環境保全工学 環境浄化技術特論 土木環境工学演習第一A 土木環境工学演習第一B 土木環境工学演習第二A 土木環境工学演習第二B 土木環境工学研究第一A 土木環境工学研究第一B 土木環境工学研究第二A 土木環境工学研究第二B | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 原本 英司 | 平成28年4月 | 環境データ分析I 高度医工学特論 陸水水质評価特論 土木環境工学演習第一A 土木環境工学演習第一B 土木環境工学演習第二A 土木環境工学演習第二B 土木環境工学研究第一A 土木環境工学研究第一B 土木環境工学研究第二A 土木環境工学研究第二B | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 石平 博 | 平成28年4月 | 国際環境技術I 水文水資源学特論 リモートセンシングと地理情報I 土木環境工学演習第一A 土木環境工学演習第一B 土木環境工学演習第二A 土木環境工学演習第二B 土木環境工学研究第一A 土木環境工学研究第一B 土木環境工学研究第二A 土木環境工学研究第二B | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 西田 継 | 平成28年4月 | 国際環境技術I 環境データ分析I 流域工学特論 陸水水质評価特論 土木環境工学演習第一A 土木環境工学演習第一B 土木環境工学演習第二A 土木環境工学演習第二B 土木環境工学研究第一A 土木環境工学研究第一B 土木環境工学研究第二A 土木環境工学研究第二B | 専 | 教授 | 西田 継 | | | | 平成28年12月1日 准教授から教授に昇任 (29) |
| 専 | 教授 | 川久保 進 | 平成28年4月 | 分析化学特論 応用化学演習第一A 応用化学演習第一B 応用化学演習第二A 応用化学演習第二B 応用化学研究第一A 応用化学研究第一B 応用化学研究第二A 応用化学研究第二B | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 原本 雄一郎 | 平成28年4月 | 有機化学特論 応用化学演習第一A 応用化学演習第一B 応用化学演習第二A 応用化学演習第二B 応用化学研究第一A 応用化学研究第一B 応用化学研究第二A 応用化学研究第二B | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 鈴木 章泰 | 平成28年4月 | 高分子化学特論 応用化学演習第一A 応用化学演習第一B 応用化学演習第二A 応用化学演習第二B 応用化学研究第一A 応用化学研究第一B 応用化学研究第二A 応用化学研究第二B | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 柴田 正実 | 平成28年4月 | 物理化学特論 キャリアデザインメント 応用化学演習第一A 応用化学演習第一B 応用化学演習第二A 応用化学演習第二B 応用化学研究第一A 応用化学研究第一B 応用化学研究第二A 応用化学研究第二B | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 和田 智志 | 平成28年4月 | 無機化学特論第二 無機化学特論 固体材料科学特論 応用化学演習第一A 応用化学演習第一B 応用化学演習第二A 応用化学演習第二B 応用化学研究第一A 応用化学研究第一B 応用化学研究第二A 応用化学研究第二B グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | | | | | | | |

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|------------|-----|--------|---------|------------|-----|--------|--------|---------------------------------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | |
| 専 | 教授 | 奥崎 秀典 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 柳 博 | 平成28年4月 | 専 | 教授 | 柳 博 | | 平成28年4月1日 准教授から教授に昇任 (28) |
| | | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 田中 功 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 熊田 伸弘 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 武井 貴弘 | 平成28年4月 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 小泉 均 | 平成28年4月 | 専 | 准教授 | 小泉一均 | | 平成29年3月31日 定年退職のため (29) |

| 設置時の計画 | | | | | 変更状況 | | | | | |
|------------|-----|--------|---------|--|------------|----|--------|--------|---------|----|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 備考 |
| 専 | 准教授 | 谷 和江 | 平成28年4月 | 分析化学特論 応用化学演習第一A 応用化学演習第一B 応用化学演習第二A 応用化学演習第二B 応用化学研究第一A 応用化学研究第一B 応用化学研究第二A 応用化学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 阪根 英人 | 平成28年4月 | 無機化学特論第一 応用化学演習第一A 応用化学演習第一B 応用化学演習第二A 応用化学演習第二B 応用化学研究第一A 応用化学研究第一B 応用化学研究第二A 応用化学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 桑原 哲夫 | 平成28年4月 | 有機化学特論 応用化学演習第一A 応用化学演習第一B 応用化学演習第二A 応用化学演習第二B 応用化学研究第一A 応用化学研究第一B 応用化学研究第二A 応用化学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 米山 直樹 | 平成28年4月 | 物理化学特論 応用化学演習第一A 応用化学演習第一B 応用化学演習第二A 応用化学演習第二B 応用化学研究第一A 応用化学研究第一B 応用化学研究第二A 応用化学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 小幡 誠 | 平成28年4月 | 高分子化学特論 応用化学演習第一A 応用化学演習第一B 応用化学演習第二A 応用化学演習第二B 応用化学研究第一A 応用化学研究第一B 応用化学研究第二A 応用化学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 綿打 敏司 | 平成28年4月 | 固体構造化学特論 応用化学演習第一A 応用化学演習第一B 応用化学演習第二A 応用化学演習第二B 応用化学研究第一A 応用化学研究第一B 応用化学研究第二A 応用化学研究第二B 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 米崎 功記 | 平成28年4月 | 固体構造化学特論 応用化学演習第一A 応用化学演習第一B 応用化学演習第二A 応用化学演習第二B 応用化学研究第一A 応用化学研究第一B 応用化学研究第二A 応用化学研究第二B 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 宮嶋 尚哉 | 平成28年4月 | 無機化学特論第一 応用化学演習第一A 応用化学演習第一B 応用化学演習第二A 応用化学演習第二B 応用化学研究第一A 応用化学研究第一B 応用化学研究第二A 応用化学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 藤間 一美 | 平成28年4月 | 総合工学特論 エレクトロニクス特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 小林 潔 | 平成28年4月 | 物性物理学特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 堀 裕和 | 平成28年4月 | 量子デバイス特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | | | | | | |

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 | | |
|------------|-----|--------|---------|---|------------|----|--------|----|--|---------------------------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | | 就任予定年月 | 担当授業科目名 |
| 専 | 教授 | 近藤 英一 | 平成28年4月 | マイクロ・ナノ材料工学特論 量子材料科学特論 材料工学特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 張本 鉄雄 | 平成28年4月 | フォトリソグラフィ特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 中川 清和 | 平成28年4月 | 電子デバイス特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | 専 | 教授 | 中川 清和 | | 電子デバイス特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | 平成29年3月31日 定年退職のため(29) |
| 専 | 准教授 | 加藤 初弘 | 平成28年4月 | エレクトロニクス特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 渡辺 勝儀 | 平成28年4月 | 物性物理学特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 佐藤 哲也 | 平成28年4月 | 量子材料科学特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 小川 和也 | 平成28年4月 | 量子材料科学特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 居島 薫 | 平成28年4月 | エレクトロニクス特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 酒井 優 | 平成28年4月 | フォトリソグラフィ特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 石川 陽 | 平成28年4月 | 物性物理学特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 山中 淳二 | 平成28年4月 | 固体構造化学特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 東海林 篤 | 平成28年4月 | フォトリソグラフィ特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | | | | | | |

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 | | |
|------------|-----|----------------|---------|---|------------|-----|--------|----|--|-------------------------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | | 就任予定年月 | 担当授業科目名 |
| 専 | 准教授 | 有元 圭介 | 平成28年4月 | 量子デバイス特論 先端材料理工学演習第一A 先端材料理工学演習第一B 先端材料理工学演習第二A 先端材料理工学演習第二B 先端材料理工学研究第一A 先端材料理工学研究第一B 先端材料理工学研究第二A 先端材料理工学研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 渡辺 政廣 | 平成28年4月 | グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | 専 | 教授 | 渡辺 政廣 | | グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | 平成28年3月31日 辞職のため(28) |
| 専 | 教授 | 出来 成人 | 平成28年4月 | グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | 専 | 教授 | 出来 成人 | | グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | 平成28年3月31日 辞職のため(28) |
| 専 | 教授 | 入江 寛 | 平成28年4月 | 量子科学特論 本種エネルギー専攻工学特論 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 内田 裕之 | 平成28年4月 | 燃料電池設計特論 材料物理特論 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 宮武 健治 | 平成28年4月 | 物理化学特論A 燃料電池設計特論 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 犬飼 潤治 | 平成28年4月 | 理研科学特論 異質・界面科学特論 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 野原 慎士 | 平成28年4月 | 物理化学特論 燃料電池設計特論 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 脇坂 暢 | 平成28年4月 | グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | 専 | 准教授 | 脇坂 暢 | | グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | 平成29年3月31日 辞職のため(29) |
| 専 | 教授 | Donald A. TRYK | 平成28年4月 | グリーンエネルギー科学・技術基盤特論初級 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 内田 誠 | 平成28年4月 | 燃料電池設計特論 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 柿沼 克良 | 平成28年4月 | 材料物理特論 燃料電池設計特論 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 常田 貴夫 | 平成28年4月 | グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | | | | | | |

| 設置時の計画 | | | | | 変更状況 | | | | | |
|------------|-----|-------------|---------|--|------------|----|--------|--------|--|-------------------------------------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 備考 |
| 専 | 教授 | 小俣 富男 | 平成28年4月 | グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 東山 和寿 | 平成28年4月 | 熱媒科学特論 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 宮尾 敏広 | 平成28年4月 | 熱媒科学特論 高専・高専科学特論 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | M. E. Brito | 平成28年4月 | 材料物理特論 グリーンエネルギー科学・技術英語特論初級 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | | | | | | |
| 専 | 教授 | 小宮山 正晴 | 平成28年4月 | グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | 専 | 教授 | 小宮山 正晴 | | グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | 平成29年3月31日 定年退職のため (29) |
| 兼任 | 教授 | 香川 知晶 | 平成28年4月 | 科学者倫理 | 兼任 | 教授 | 香川 知晶 | | 科学者倫理 | 平成29年3月31日 定年退職のため (29) |
| | | | | | 兼任 | 教授 | 宮澤 恵二 | | 科学者倫理 | 平成29年4月1日 教授退職のため担当者の 変更 (29) |
| 兼任 | 教授 | 中尾 篤人 | 平成28年4月 | サイエンスコミュニケーション 流域医学特論 | 兼任 | 教授 | 中尾 篤人 | | 科学者倫理 サイエンスコミュニケーション 流域医学特論 | 平成29年4月1日 教授退職のため担当追加 (29) |
| 兼任 | 教授 | 谷本 守正 | 平成28年4月 | キャリアマネジメント | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 黒澤 尋 | 平成28年4月 | サイエンスコミュニケーション | | | | | | |
| 兼任 | 准教授 | 高橋 智子 | 平成28年4月 | 科学者倫理 | | | | | | |
| 兼任 | 助教 | 田中 靖浩 | 平成28年4月 | 流域医学特論 | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 山縣 然太郎 | 平成28年4月 | 流域医学概論 社会医学特論 | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 安達 登 | 平成28年4月 | 社会医学特論 | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 小田 賢幸 | 平成28年4月 | 人体形態・機能学概論 | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 喜多村 和郎 | 平成28年4月 | 人体形態・機能学概論 | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 松本 俊 | 平成28年4月 | パワー半導体工学特論 | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 飯山 明裕 | 平成28年4月 | 先端科学技術特論 環境科学特論 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 手塚 芳一 | 平成28年4月 | 科学者倫理 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 酒井 宏樹 | 平成28年4月 | 技術経営システム特論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 高橋 良和 | 平成28年4月 | パワー半導体工学特論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 松本 康 | 平成28年4月 | パワー半導体工学特論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 池田 良成 | 平成28年4月 | パワー半導体工学特論 | | | | | | |

| 専任・兼任・兼任の別 | 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|------------|--------|-------------------|---------|---|------|--------|--------|---------|----|
| | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | |
| 兼任 | 講師 | 三枝 康孝 | 平成28年4月 | 電気電子工学特別講義Ⅰ 電気電子工学特別講義Ⅱ | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 多々良 源 | 平成28年4月 | 電気電子工学特別講義Ⅰ 電気電子工学特別講義Ⅱ | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 松尾 昌一郎 | 平成28年4月 | 電気電子工学特別講義Ⅰ 電気電子工学特別講義Ⅱ | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 伊東 洋一 | 平成28年4月 | 電気電子工学特別講義Ⅰ 電気電子工学特別講義Ⅱ | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 杉山 益之 | 平成28年4月 | 電気電子工学特別講義Ⅰ 電気電子工学特別講義Ⅱ | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 眞野 浩 | 平成28年4月 | 電気電子工学特別講義Ⅰ 電気電子工学特別講義Ⅱ | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 板倉 哲朗 | 平成28年4月 | 電気電子工学特別講義Ⅰ 電気電子工学特別講義Ⅱ | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 川人 祥二 | 平成28年4月 | 電気電子工学特別講義Ⅰ 電気電子工学特別講義Ⅱ | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 近藤 尚己 | 平成28年4月 | 流域工学特論 | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 中野 秀俊 | 平成28年4月 | シビルマネジメント基礎 | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 中沢 賢 | 平成28年4月 | シビルマネジメント基礎 | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 尾松 智 | 平成28年4月 | シビルマネジメント基礎 | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 矢崎 智彦 | 平成28年4月 | シビルマネジメント基礎 | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 山下 博史 | 平成28年4月 | 地域防災リーダー研修(特別講義) | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 藤井 敏嗣 | 平成28年4月 | 地域防災リーダー研修(特別講義) | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 花棚 浩一 | 平成28年4月 | 地域防災リーダー研修(特別講義) | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 原 友孝 | 平成28年4月 | 地域防災リーダー研修(特別講義) | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 水上 文明 | 平成28年4月 | 地域防災リーダー研修(特別講義) | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 相原 洋子 | 平成28年4月 | 国際環境技術Ⅰ | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 松本 重行 | 平成28年4月 | 国際環境技術Ⅰ | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 神田 浩史 | 平成28年4月 | 国際環境技術Ⅰ | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 市川 温 | 平成28年4月 | 流域管理特論 水文水資源学特論 | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 鳥養 映子 | 平成28年4月 | 電磁気学特論 半導体量子科学特論 | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 長田 洋 | 平成28年4月 | イノベーションマネジメント特論 | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 行天 久朗 | 平成28年4月 | エネルギー環境経済特論 | | | | | |
| 兼任 | 講師 | John T. S. Irvine | 平成28年4月 | グリーンエネルギー変換工学特別講義 | | | | | |
| 兼任 | 講師 | Thomas F. Fuller | 平成28年4月 | グリーンエネルギー変換工学特別講義 | | | | | |
| 兼任 | 講師 | Sylvain Brimaud | 平成28年4月 | グリーンエネルギー変換工学特別講義 | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 亀田 常治 | 平成28年4月 | エネルギー貯蔵システム工学特論 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一-A グリーンエネルギー工学専門研究第一-B グリーンエネルギー工学専門研究第一-C グリーンエネルギー工学専門研究第一-D | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 大間 敦史 | 平成28年4月 | 国際環境技術特論 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一-A グリーンエネルギー工学専門研究第一-B グリーンエネルギー工学専門研究第一-C グリーンエネルギー工学専門研究第一-D | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 清林 哲 | 平成28年4月 | エネルギー材料科学特論 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一-A グリーンエネルギー工学専門研究第一-B グリーンエネルギー工学専門研究第一-C グリーンエネルギー工学専門研究第一-D | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 久保 佳実 | 平成28年4月 | ナノ電機材料工学特論 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一-A グリーンエネルギー工学専門研究第一-B グリーンエネルギー工学専門研究第一-C グリーンエネルギー工学専門研究第一-D | | | | | |

| 設置時の計画 | | | | | 変更状況 | | | | | 備考 |
|------------|----|--------|---------|---|------------|-----|--------|--------|--|----------------------------------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | |
| 兼任 | 講師 | 妹尾 博 | 平成28年4月 | エネルギー材料科学特論 応用電気化学特論 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一-A グリーンエネルギー工学専門研究第一-B グリーンエネルギー工学専門研究第二-A グリーンエネルギー工学専門研究第二-B | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 柳田 真利 | 平成28年4月 | 太陽電池化学特論 グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一-A グリーンエネルギー工学専門研究第一-B グリーンエネルギー工学専門研究第二-A グリーンエネルギー工学専門研究第二-B | | | | | | |
| | | | | | 専 | 准教授 | 豊浦 正広 | | 20c1-1-9理工学演習第一-A 20c1-1-9理工学演習第一-B 20c1-1-9理工学演習第二-A 20c1-1-9理工学演習第二-B 20c1-1-9理工学研究第一-A 20c1-1-9理工学研究第一-B 20c1-1-9理工学研究第二-A 20c1-1-9理工学研究第二-B | 平成29年4月1日 教育充実のため担当追加 (29) |

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まらない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

5 教員組織の状況

<医工農学総合教育部 工学専攻（修士課程）>

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

| | | |
|--------------------------|-------------------------|----------------------------|
| 完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数 | うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数 | 完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数 |
| 26 名 | 18 名 | 0 名 |

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

| 設置時の計画 | | | | | 現在（報告書提出時）の状況 | | | | | 現在（報告書提出時）の完成年度時の計画 | | | | |
|---------|-----------|------------|-----|-----|---------------|-----------|------------|----|------|---------------------|-----------|------------|-----|------|
| 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計(A) | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計(B) |
| 68 | 67 | 0 | 0 | 135 | 65 | 63 | 0 | 0 | 128 | 65 | 63 | 0 | 0 | 128 |
| (70) | (65) | (0) | (0) | 135 | | | | | | [△3] | [△4] | [0] | [0] | [△7] |
| 研究指導教員数 | 研究指導補助教員数 | 講義のみ担当の教員数 | | | 研究指導教員数 | 研究指導補助教員数 | 講義のみ担当の教員数 | | | 研究指導教員数 | 研究指導補助教員数 | 講義のみ担当の教員数 | | |
| 122 | 13 | 0 | | | 118 | 10 | 0 | | | 118 | 10 | 0 | | |
| 121 | 14 | 0 | | | | | | | | [△4] | [△3] | [0] | | |

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

| 年齢構成 | | |
|-----------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 定年規定の定める定年年齢（歳） | 報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 | 完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数 |
| 65 歳 | 0 | 0 名 |

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 就任辞退（未就任）の理由 | | | | | | | |
|------------|-----|--------|---------------------|--|--------------|---------------|----------|----|---|----|----|---|----|
| 1 | 准教授 | 高橋 良輔 | 必修 | 土木環境工学演習第一A 土木環境工学演習第一B 土木環境工学演習第二A 土木環境工学演習第二B 土木環境工学研究第一A 土木環境工学研究第一B 土木環境工学研究第二A 土木環境工学研究第二B | ① | 辞職のため就任辞退（28） | | | | | | | |
| 2 | 教授 | 渡辺 政廣 | 必修 | グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | ① | 辞職のため就任辞退（28） | | | | | | | |
| 3 | 教授 | 出来 成人 | 必修 | グリーンエネルギー工学演習第一 グリーンエネルギー工学演習第二 グリーンエネルギー工学専門研究第一A グリーンエネルギー工学専門研究第一B グリーンエネルギー工学専門研究第二A グリーンエネルギー工学専門研究第二B | ① | 辞職のため就任辞退（28） | | | | | | | |
| 合計（A） | | | | | 後任補充状況の集計（B） | | | | | | | | |
| 就任を辞退した教員数 | | | 担当科目数の合計（a）+（b）+（c） | | ①の合計数（a） | ②の合計数（b） | ③の合計数（c） | | | | | | |
| 3 | 人 | 必修 | 20 | 科目 | 必修 | 20 | 科目 | 必修 | 0 | 科目 | 必修 | 0 | 科目 |
| | | 選択 | 0 | 科目 | 選択 | 0 | 科目 | 選択 | 0 | 科目 | 選択 | 0 | 科目 |
| | | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 |
| | | 計 | 20 | 科目 | 計 | 20 | 科目 | 計 | 0 | 科目 | 計 | 0 | 科目 |

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 辞任等の理由 |
|----|----|--------|------------|-----------|--------|---------------|
| 1 | 教授 | 園家 啓嗣 | 必修 | 総合工学特論 | ① | 定年退職のため辞任（28） |
| | | | 選択 | 加工学特論 | ① | |
| | | | 選択 | 機械材料学特論 | ① | |
| | | | 必修 | 機械工学演習第一A | ① | |
| | | | 必修 | 機械工学演習第一B | ① | |
| | | | 必修 | 機械工学演習第二A | ① | |
| | | | 必修 | 機械工学演習第二B | ① | |
| | | | 必修 | 機械工学研究第一A | ① | |
| | | | 必修 | 機械工学研究第一B | ① | |
| | | | 必修 | 機械工学研究第二A | ① | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------|-----|--------------------------|----|---------------------|---------------|---------------------------------|-----------|----|---|----|----|---|----|
| 2 | 教授 | 萩原 親作 | 選択 | 加工学特論 | ① | 定年退職のため辞任 (28) | | | | | | | |
| | | | 必修 | 機械工学演習第一 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 機械工学演習第一 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 機械工学演習第二 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 機械工学演習第二 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 機械工学研究第一 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 機械工学研究第一 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 機械工学研究第二 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 機械工学研究第二 B | ① | | | | | | | | |
| 3 | 教授 | 秋津 哲也 | 選択 | 発送電工学特論 | ① | 定年退職のため辞任 (28) | | | | | | | |
| | | | 必修 | 総合工学特論 | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 電気電子工学演習第一 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 電気電子工学演習第一 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 電気電子工学演習第二 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 電気電子工学演習第二 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 電気電子工学研究第一 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 電気電子工学研究第一 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 電気電子工学研究第二 A | ① | | | | | | | | |
| 4 | 教授 | 平山 公明 | 必修 | 土木環境工学演習第一 A | ① | 定年退職のため辞任 (28) | | | | | | | |
| | | | 必修 | 土木環境工学演習第一 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 土木環境工学演習第二 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 土木環境工学演習第二 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 土木環境工学研究第一 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 土木環境工学研究第一 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 土木環境工学研究第二 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 土木環境工学研究第二 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 土木環境工学研究第二 A | ① | | | | | | | | |
| 5 | 准教授 | 小泉 均 | 選択 | 分析化学特論 | ① | 定年退職のため辞任 (28) | | | | | | | |
| | | | 必修 | 応用化学演習第一 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 応用化学演習第一 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 応用化学演習第二 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 応用化学演習第二 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 応用化学研究第一 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 応用化学研究第一 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 応用化学研究第二 A | ① | | | | | | | | |
| 6 | 教授 | 中川 清和 | 選択 | 量子デバイス特論 | ① | 定年退職のため辞任 (28) | | | | | | | |
| | | | 必修 | 先端材料工学演習第一 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 先端材料工学演習第一 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 先端材料工学演習第二 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 先端材料工学演習第二 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 先端材料工学研究第一 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 先端材料工学研究第一 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | 先端材料工学研究第二 A | ① | | | | | | | | |
| 7 | 教授 | 小宮山 政晴 | 必修 | グリーンエネルギー工学演習第一 | ① | 定年退職のため辞任 (28) | | | | | | | |
| | | | 必修 | グリーンエネルギー工学演習第二 | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | グリーンエネルギー工学専門研究第一 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | グリーンエネルギー工学専門研究第一 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | グリーンエネルギー工学専門研究第二 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | グリーンエネルギー工学専門研究第二 B | ① | | | | | | | | |
| 8 | 准教授 | 脇坂 暢 | 必修 | グリーンエネルギー工学演習第一 | ① | 自己都合 (富山県立大学工学部准教授採用)のため辞任 (29) | | | | | | | |
| | | | 必修 | グリーンエネルギー工学演習第二 | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | グリーンエネルギー工学専門研究第一 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | グリーンエネルギー工学専門研究第一 B | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | グリーンエネルギー工学専門研究第二 A | ① | | | | | | | | |
| | | | 必修 | グリーンエネルギー工学専門研究第二 B | ① | | | | | | | | |
| 合計 (C) | | | | | 後任補充状況の集計 (D) | | | | | | | | |
| 辞任した教員数 | | 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c) | | | ①の合計数 (a) | ②の合計数 (b) | ③の合計数 (c) | | | | | | |
| 8 | 人 | 必修 | 62 | 科目 | 必修 | 62 | 科目 | 必修 | 0 | 科目 | 必修 | 0 | 科目 |
| | | 選択 | 6 | 科目 | 選択 | 6 | 科目 | 選択 | 0 | 科目 | 選択 | 0 | 科目 |
| | | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 |
| | | 計 | 68 | 科目 | 計 | 68 | 科目 | 計 | 0 | 科目 | 計 | 0 | 科目 |

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

| 合計(A) + (C) | | | 後任補充状況の集計(B) + (D) | | | | | | |
|-------------|-------------------------|----|--------------------|----------|----|----------|----|----------|----|
| 辞任等した教員数 | 担当科目数の合計(a) + (b) + (c) | | | ①の合計数(a) | | ②の合計数(b) | | ③の合計数(c) | |
| 11 人 | 必修 | 82 | 科目 | 必修 | 82 | 科目 | 必修 | 0 | 科目 |
| | 選択 | 6 | 科目 | 選択 | 6 | 科目 | 選択 | 0 | 科目 |
| | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 |
| | 計 | 88 | 科目 | 計 | 88 | 科目 | 計 | 0 | 科目 |

- (注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退による辞職者(3名)及び定年退職・辞職による退職者(8名)の担当科目は、後任の専任教員及び他の専任教員が担当している。学生に対してはガイダンス等で周知済みである。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

| 区 分 | 留 意 事 項 等 | | 履 行 状 況 | 未履行事項について の実施計画 |
|--------------------------|--|-------------|---|--------------------|
| <p>設 置 時 (27年6月)</p> | <p>コミュニケーション能力や国際的視野を備えるために、英語での教育(英語対応科目の設置の考え方や実施方法)をどのように行うのか、より具体的に説明することが望ましい。</p> | <p>要望意見</p> | <p>新たな仕組みとして、コミュニケーション能力や国際的視野を備えるための英語教育を次のとおり整備した。</p> <p>(1) 3コース（電気電子工学コース・土木環境工学コース・先端材料理工学コース）については、平成28年度から、英語対応科目を設け、同科目の履修のみで修了できる仕組みを整備した。英語対応科目では、英語テキストの使用や英語による解説を取り入れた教材を各担当教員が準備している。また、実施状況を各コースにおいてチェックし、その結果を専攻全体で共有している。なお、31年度を目途に全コースにこの仕組みを適用する予定である。</p> <p>(2) 上記に加え、国際会議等における英語での口頭発表を行うため「研究発表特論A、B」を専攻共通科目として設け、また実用英語を用いたプレゼンテーションが可能となるよう大学院共通科目に「サイエンスコミュニケーション」を設けるとともに、英語版の入学者募集要項（別紙イ参照）を作成している。</p> | |
| | <p>専攻には学部の学科に対応する7つのコースを置く構想だが、コース選択の時期や転コースの取扱いについて明確にするとともに、転コースが可能な場合、学生に対してどのようなフォローアップを行うのか説明することが望ましい。</p> | | <p>入試はコースごとに行うこととし、幅広い工学系の見識と俯瞰的な見方を修得させるため、専攻共通科目や他コース科目を修了要件科目として設定するとともに、興味関心の変化や境界領域へのチャレンジに対応できる転コース制度を整えた。</p> <p>転コースの希望者に対しては、学期末毎の面接試験により対応することとし、関係会議を経て修士課程工学専攻委員会にて判定している。判定にあたっては、指導を問題なく行えるかどうか指導教員の変更や研究テーマ等についても十分な審査を行っている（別紙ロ参照）。</p> <p>また、本学工学部の学生に対する進路指導において、関係コースの履修内容等について丁寧に説明し、コース選択の自由度が高いことについて理解を得るとともに、転コースした学生に対しては、双方のコースにおける複数指導教員制度を活用し、手厚くフォローしている。</p> | |

| 区 分 | 留 意 事 項 等 | | 履 行 状 況 | 未履行事項について の実施計画 |
|------------------------------|-----------|--|---------|--------------------|
| 設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月) | 該当なし | | | |

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

Application Guidelines for 2018

**INTEGRATED GRADUATE SCHOOL OF
MEDICINE, ENGINEERING, AND AGRICULTURAL SCIENCES**

MASTER'S COURSE

(DEPARTMENT OF ENGINEERING)

(If you are Japanese or can read Japanese, see the Japanese version.)



UNIVERSITY
OF
YAMANASHI

University of Yamanashi

(<http://www.yamanashi.ac.jp/en/>)

INDEX

| | |
|--|----|
| ADMISSIONS POLICY | 1 |
| 1. Overview | 3 |
| 2. First Call for Applications | |
| Special Selection Application Guideline for Preferred Applicants | 5 |
| General Selection Application Guideline..... | 12 |
| General Information | 23 |
| 3. Second Call for Applications | |
| General Selection Application Guideline..... | 25 |
| General Information | 36 |
| 4. Course or Program Descriptions | 39 |

Attached Forms (enclosed)

Special Selection for Preferred Applicants

Attached Form 1: Entrance Application Form, Examination Admission Slip,
and Examination Fee Receipt Affixation Sheet

Attached Form 2: Letter of Recommendation

Attached Form 3: Statement of Purpose

Attached Form 4: Research Project Plan

General Selection

Attached Form 1: Entrance Application Form, Examination Admission Slip,
and Examination Fee Receipt Affixation Sheet

Attached Form 2: Statement of Purpose

Attached Form 3: Research Project Plan

- Payment Form
- Application Slip and Address Slip
- Return Envelope

《References》

Department of Academic Affairs Support
Office of Admissions, University of Yamanashi
4-4-37, Takeda, Kofu, Yamanashi, 400-8510 Japan
Tel:055-220-8046
(from abroad, +81-55-220-8046)

《Office hours》

Between 8:30 and 17:00 weekdays
(Except for public holidays, August 14 through 16
and December 29 through January 3)

1. Overview

<<ADMISSIONS POLICY>>

The Principles, Aims, and Admissions Policy of the Integrated Graduate School of Medicine, Engineering, and Agricultural Sciences

[Principles and Aims]

The aims of our education and research programs are as follows: to cultivate superior scholars who can apply their academic studies to solution of the problems faced by today's society, and who, from a global perspective, can creatively improve upon these applied solutions; and to cultivate competent business specialists equipped with high-grade academic knowledge.

[Educational Objectives]

We nurture those who, as professional engineers and researchers, will contribute to society using their expertise, development capability, ability to identify and solve problems, and international communication skills.

[Admissions Policy]

We invite to join our programs students with a basic academic foundation in their field of specialization, who are motivated to seek further knowledge and pursue advanced research and applications, and who have a desire to give back to society.

Department of Engineering

We seek individuals who are motivated to acquire expertise in their major field, clear insight into engineering, and international sense and communication skills, and who intend to use their skills and pioneering spirit to make creative contributions to social and industrial development.

• Mechanical Engineering Course

We receive students who wish to satisfy society's diversifying needs by acquiring the most advanced technological know-how in the automobile, aerospace, medical engineering, power and energy systems fields, in addition to broadening their knowledge and skills in mechanical engineering fields such as machinery physics, production technology engineering, and systems design engineering. We also seek students who want to take an active part in the international community by acquiring communication skills from a global perspective.

• Electrical and Electronic Engineering Course

We seek those who want to develop their ability to solving technical problems and become active forces in the engineering industry by mastering fundamental knowledge and acquiring specialized expertise in electronics, photoelectronic devices, circuit design, power control, communication, and other cutting-edge technologies.

• Computer Science and Engineering Course

Prospective students should aspire to become professionals with a broad perspective of the field of information technology. Students should strive to acquire advanced knowledge and skills in the field, to become adept at analytical thinking, and to improve their capacity to solve engineering problems under constraints.

- Mechatronics Course

We seek applicants who aspire to lead the “Manufacturing industry” (*Monodzukuri* in Japanese) and to solve problems by integrating their skills in problem identification, communication, and knowledge application. Applicants should be motivated to develop all these skills based on hybrid knowledge of mechanical, electrical, and computer technologies, which are offered by our department.

- Civil and Environmental Engineering Course

This program is designed for students who intend to acquire expertise and research skill in civil and environmental engineering, and who want to work toward establishment of new-era infrastructure that supports a safe and sustainable society in harmony with the environment.

- Applied Chemistry Course

We seek individuals who wish to contribute to innovative developments for future society through creative research and studies founded on broad and international perspectives, utilizing high-level knowledge and technological proficiency in basic applied chemistry fields such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, and polymer chemistry.

- Advanced Material Science Course

We seek students who are highly motivated and qualified to create our future world by processing advanced materials and pursuing their complex functions through physical and chemical manipulation of atoms and molecules.

- Special Educational Program on River Basin Environmental Science

Interdisciplinary Centre for River Basin Environment (ICRE) fosters young experts who can understand the diversity of regions and communities, identify area-specific environmental and water issues, and implement practical solutions. We study flood and drought risk analyses, the conservation and relocation of water resources, the identification of pollution sources and processes, the development of locally fitted treatments for drinking and wastewater, the evaluation of health and socio-economic impact, and more.

- Special Educational Program for Green Energy Conversion Science and Technology

We seek individuals eager to become international scientists and engineers who can contribute to realization of a low-carbon society, utilizing their knowledge and technologies of green energy conversion and storage, including fuel cells, solar cells, and thermoelectric conversion.

Overview

Number of Students to be Admitted

| Classification of Application Courses or Programs | Capacity | Number of Students to be Admitted | | | | | | Total Number of Students to be Admitted |
|--|------------|--|-------------------|--|------------------------------|--|------------|---|
| | | First Call for Applications | | | Second Call for Applications | | | |
| | | Special Selection for Preferred Applicants | General Selection | Special Selection for Working Members of Society | General Selection | Special Selection for Working Members of Society | | |
| Mechanical Engineering Course | | 18 | 5 | A few | A few | A few | 23 | |
| Electrical and Electronic Engineering Course | | 15 | 8 | A few | A few | A few | 23 | |
| Computer Science and Engineering Course | | 16 | 7 | A few | A few | A few | 23 | |
| Mechatronics Course | | 15 | 8 | A few | A few | A few | 23 | |
| Civil and Environmental Engineering Course | 181 | | 15 | A few | A few | A few | 15 | |
| Applied Chemistry Course | | 18 | 8 | A few | A few | A few | 26 | |
| Advanced Material Science Course | | 8 | 15 | A few | A few | A few | 23 | |
| Special Educational Program on River Basin Environmental Science | | | 10 | A few | A few | A few | 10 | |
| Special Educational Program for Green Energy Conversion Science and Technology | | | 15 | | | A few | 15 | |
| Total | 181 | 90 | 91 | | | | 181 | |

Examination Dates

[First Call for Applications]

| | | |
|---|---|--|
| Application Period | June 5 (Monday) – June 9 (Friday), 2017 ①Applications by post must be delivered by registered express delivery. <u>Must arrive in the application period.</u> ②Applications will be received at the campus during the application period from 9:00am to 4:30pm. | |
| Examination of Application Requirements | An examination of application requirements will be conducted in advance for applicants who apply under certain conditions. Refer to note regarding application requirements. | |
| Examination Date | July 1 (Saturday), 2017 | |
| Announcement of Successful Applicants | July 14 (Friday), 2017 | |
| Entrance Procedures | Enrollment in October 2017 | September 15 (Friday), 2017 |
| | Enrollment in April 2018 | March 8 (Thursday) – March 15 (Thursday), 2018 |

[Second Call for Applications]

| | | |
|---|--|--|
| Application Period | November 6 (Monday) – November 10 (Friday), 2017 ①Applications by post must be delivered by registered express delivery. <u>Must arrive in the application period.</u> ②Applications will be received at the campus during the application period from 9:00am to 4:30pm. | |
| Examination of Application Requirements | An examination of application requirements will be conducted in advance for applicants who apply under some conditions. Refer to note regarding application requirements. | |
| Examination Date | December 2 (Saturday), 2017 | |
| Announcement of Successful Applicants | December 15 (Friday), 2017 | |
| Entrance Procedures | Enrollment in April 2018 | March 8 (Thursday) – March 15 (Thursday), 2018 |
| | Enrollment in October 2018 | September 14 (Friday), 2018 |

大学院医工農学総合教育部修士課程工学専攻転コースに関する内規

制定 平成28年4月1日

(総則)

第1条 本専攻における転コース又は転プログラム（以下、転コースという。）に関しては、この内規の定めるところによる。

(転コースの時期)

第2条 転コースの時期は、学期の始めとする。

(出願資格)

第3条 転コースは、本専攻に在籍し、既に在学した年数と転コース後修了までに必要な年数の通算が4年を超えない者が出願できる。

(転コースの選考)

第4条 選考は、面接試験により、受入コースが行う。

(転コースの許可)

第5条 転コースを志願する者があるときには、第4条に定める選考後、修士課程工学専攻委員会の議を経て、学長が許可する。

2 転コースを許可された者の年次は、転コース前と同じ扱いとする。

(受け入れの方法)

第6条 転コースの出願手続等に関しては、実施要項に定める。

(既修得単位数の取扱等)

第7条 転コースを許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱いについては、受入コースが原案を作成し、工学域教育委員会において審議の上、工学専攻長が決定する。

(在学年限)

第8条 転コースを許可された者の在学年限は、転コース前と同じ扱いとする。

(その他)

第9条 この内規に定めるほか、転コースに関して必要な事項は修士課程工学専攻委員会で定める。

附 則

この内規は、平成28年4月1日から施行する。

7 その他全般的事項

<医工農学総合教育部 工学専攻（修士課程）>

(1) 設置計画変更事項等

| 設置時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|--------|------------------|
| 該当なし | |

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

| |
|---|
| <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>【全学組織】 全学教育FD委員会（別紙1「山梨大学全学教育FD委員会規程」）</p> <p>【工学域】 工学域教育委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>【全学組織】 全学教育FD委員会 7回（平成28年5月24日開催、7月5～8日開催メール会議、7月28日開催、8月19日～23日開催メール会議、11月21日～24日開催メール会議、12月22日～27日開催メール会議 平成29年3月1日開催） 工学域委員2名（平成28年度）</p> <p>【工学域】 工学域教育委員会 9回（平成28年4月1日開催、5月26日開催、7月14日開催、9月8日開催、10月6日開催、11月17日開催、12月15日開催、平成29年1月19日開催、3月16日開催） 委員18名（平成28年度）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>【全学組織】 教員の教育活動に係る専門能力向上ための企画及びその実施について</p> <p>【工学域】 学域での教員の教育活動に係る専門能力向上ための企画及びその実施について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>【全学組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学教育FD研修会 ・ 授業評価アンケート <p>【工学域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工学域教育FD研修会 <p>b 実施方法</p> <p>【全学組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学教育FD研修会（年10回程度） ・ 授業評価アンケート（前後期各1回実施） <p>【工学域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工学域教育FD研修会（年1～2回実施） |
|---|

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【全学組織】

- ・ 全学教育FD研修会（平成28年8月3日開催21名参加、8月22日開催44名参加、9月7～8日開催25名参加、11月30日開催49名参加、12月15日開催6名参加、平成29年1月11日開催17名参加、1月20日開催9名参加、1月27日開催31名参加、2月16日開催1名参加、3月29日開催115名参加、3月30日開催4名参加）
- ・ 授業評価アンケート（学生に対して前後期各1回授業評価のアンケート実施）

【工学域】

- ・ 教育FD研修会（平成28年7月14日開催「三つのポリシー策定研修会」95名参加）
- ・ 教育FD研修会（平成28年12月21日開催「eポートフォリオMAHARA等研修会」34名参加）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD研修会を通じて、現状の課題に関し、教員間で情報交換、意見交換を行い、講義の調整・工夫の共有、学生の理解度、関心度等を共有し、翌年度以降に反映することとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前後期各1回実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員には紙媒体で個人の授業評価結果を通知しているが、学生へ公開はしていない。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

工学専攻では、「工学系高度専門職業人に共通して求められる解析法および分析法を修得させるとともに、高度な専門知識および専門応用能力をもち、各種工業技術を適正かつ効率的に駆使し、産業分野で中核となって活躍できる人材を育成」し、加えて、「関連分野をより広く学ぶことにより俯瞰的なものの見方を身につけ、コミュニケーション能力や国際的視野も兼ね備え、社会や産業の急速な変化に対応できるとともに新たな産業領域や分野においても活躍できる素養を身につけた、今後の社会で求められる工学系高度専門職業人を養成」することを目的として掲げていることから、修得すべき高度専門知識を厳選し、専門科目のカリキュラムを作成した。

事前伺いに記したカリキュラム通り、各コースの専門科目、大学院共通科目である「科学者倫理」、「キャリアマネジメント」、「サイエンスコミュニケーション」及び工学専攻共通科目「総合工学概論」、「実験計画とデータ処理」、「数値計算特論」、「技術経営システム特論」「応用数学演習」を開講した。英語のみで履修する学生のために、当該学生が在籍するコースの専門科目はもとより共通科目や他コース受講科目についても、レジュメ・資料を英語表記にするなど、必要な英語対応を行った。

また、講義科目に対して学年や内容の水準を体系的に示し、修得の順序や段階の理解性を高めるための科目のナンバリングを予定通り実施し、さらに各学生に対して主指導教員のほかに各コースにて副指導教員を選任し複数指導体制を敷いているなど、きめ細かな対応を行っている。

その他にも、グローバルに活躍できる人材育成の一の方策として掲げたデュアルディグリー制度を設けている。実績としては、中国西南交通大学と国際デュアルディグリー協定を締結し、平成28年度後期より3名の学生を受け入れ教育研究指導を行っている。また、杭州科技大学とも協力協定を結んでおり、デュアルディグリー希望学生を平成29年秋より受け入れる準備を整えている。

入学定員181名に対し、入学試験に合格した受験者は平成28年度195名、平成29年度187名であったが、工学部卒業生に対する求人が急増していることが影響し、入学者数は平成28年度182名、平成29年度169名と若干定員を下回る結果となった。今後の対応として、大企業中心に求人は学部卒業生よりも修士修了者にシフトする傾向にあることなどの情報提供を学士課程在学者に周知するなど定員確保に向けた取り組みを行っていく。

最後に、日常的な教育上の課題は工学域教育委員会にて、進路指導を含む学生生活上の課題については工学域学生委員会にて検討、改善を図っている。また運営全体については月2回程度開催する修士課程工学専攻主任会議にて協議し、主要な課題は規定どおり工学専攻運営会議（教授会）にて審議、決定している。
（別紙2「工学域各種委員会内規」）

以上のように全体として運営は順調である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

今後検討する。

b 公表方法

今後検討する。

③ 認証評価を受ける計画

平成33年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の機関別認証評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成29年9月1日公開予定)

○ 山梨大学全学教育FD委員会規程

制定 平成26年12月24日

(趣旨)

第1条 山梨大学に、教育の向上及び能力開発に関する恒常的な検討を行い、その質的充実を図ることを目的として山梨大学全学教育FD（ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 大学、大学院教育の組織的改善に関する事項
- (2) 教員の教育活動に係る専門能力向上のための企画及びその実施・評価に関する事項
- (3) 学域、研究科等が実施するFD活動の支援に関する事項
- (4) その他FD活動に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 大学教育センター長
- (2) 各学域のFDに関する委員会の委員長及び副委員長
- (3) 大学教育センター専任教員1人
- (4) 教学支援部長
- (5) その他委員会が必要と認めた者

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、大学教育センター長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第5条 委員会は、過半数の委員が出席しなければ、開催することができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教学支援部教務課において処理する。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定

める。

附 則

- 1 この規程は、平成26年12月24日から施行し、平成26年10月1日から適用する。
- 2 山梨大学全学教育FD委員会規程（平成21年10月21日制定）は廃止する。

○ 工学域各種委員会内規

| | | | |
|----|-------|-----|-----|
| 制定 | 平成16年 | 4月 | 1日 |
| 改正 | 平成16年 | 11月 | 1日 |
| | 平成17年 | 4月 | 1日 |
| | 平成18年 | 4月 | 1日 |
| | 平成19年 | 6月 | 14日 |
| | 平成20年 | 4月 | 1日 |
| | 平成21年 | 4月 | 1日 |
| | 平成22年 | 4月 | 1日 |
| | 平成24年 | 3月 | 6日 |
| | 平成24年 | 5月 | 10日 |
| | 平成26年 | 10月 | 9日 |

(趣旨)

第1条 この内規は、山梨大学大学院総合研究部学域運営会議規程第9条第2項の規定に基づき、工学域各種委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定める。

(委員会)

第2条 工学域に、別表に掲げる委員会を置く。

- 2 各委員会の運営に関する必要事項は、別表に定めるとおりとする。
- 3 第1項の委員会のほか、必要がある場合は、時限の委員会を置くことができる。
- 4 各委員会の委員は、再任することができる。

(委員長)

第3条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

- 2 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員の過半数をもって成立する。

- 2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は工学部支援課で処理する。

(雑則)

第7条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、各委員会が別に定める。

附 則

この内規は、平成16年4月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成16年11月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成17年4月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成18年4月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成19年6月14日から実施する。

附 則

この内規は、平成20年4月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成21年4月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成22年4月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成24年4月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成24年5月10日から実施する。

附 則

この内規は、平成26年10月1日から実施する。

別 表

| 委 員 会 | 審 議 事 項 | 組 織 | 任 期 | 委 員 長 |
|---------------------|--|---|-----|------------------|
| 工学域学生委員会 | 学生の厚生補導に関すること 学生の進路指導に関すること 学生の奨学金に関すること 学生の ISO 指導に関すること 学生の交通問題指導に関すること 留学生に関すること 学生実験安全対策に関すること | ME、EE、CS、JM、CE、 AC、AM、MS、ES、KM、 CE、AA、BT、SS、HS、 CP、WP、KP、RP、GP から教授 各 1 名 | 2 年 | 評議員 |
| 工学域教育委員会 | 工学部及び大学院修士課程に係る 教務に関すること JABEE 教育に関すること インターンシップに関すること | ME、EE、CS、JM、CE、 AC、AM、MS、ES、KM、 CE、AA、BT、SS、HS、 CP、WP、KP、RP、GP から教授 各 1 名 | 2 年 | 評議員 |
| 工学域将来計画委員会 | 中期目標・中期計画に関すること 工学域に係る組織の改廃等に関する こと | ME、EE、CS、JM、CE、 AC、AM、I、R から 教授 各 1 名 | 2 年 | 学部長 |
| 工学域評価委員会 | 教員及び職員評価システムに関する こと 自己点検評価に関すること | ME、EE、CS、JM、CE、 AC、AM、I、R から 教授 各 1 名 | 2 年 | 学部長 |
| 工学域予算委員会 | 予算配分基準に関すること | ME、EE、CS、JM、CE、 AC、AM、I、R から 教授 各 1 名、 支援 課長 | 1 年 | 評議員 |
| 工学域施設委員会 | 施設利用に関すること | ME、EE、CS、JM、CE、 AC、AM、I、R から 教授 各 1 名、 支援 課長 | 1 年 | 評議員 |
| 工学部入学者選抜方法検討 委員会 | 工学部に係る入試方法の調査検討 に関すること 入学者の追跡調査に関すること | ME、EE、CS、JM、CE、 AC、AM から各 1 名 | 2 年 | 学部長 指名の 者 |
| 工学部入学試験委員会 | 学生募集要項等に関すること 入学者選抜の実施に関すること | ME、EE、CS、JM、CE、 AC、AM から各 3 名(学 科長を含む)、コンピ ュータ処理専門委員 | 2 年 | 学部長 指名の 委員 |

| | | | | |
|-----------------------------|--|--------------------------------------|----|----------|
| 工学部入学試験委員会 コンピュータ処理専門委員会 | 個別学力検査に関するコンピュータ処理システムの保守管理及びデータ処理 | ME、EE、CS、JM、CE、AC、AM から各1名、入試委員長補佐代表 | 2年 | 学部長指名の者 |
| | | 学部長指名委員3名 | 3年 | |
| 工学域研究推進委員会 | 研究プロジェクトに関すること 外部資金の獲得に関すること 研究環境の改善に関すること | ME、EE、CS、JM、CE、AC、AM から各1名 | 2年 | 評議員 |
| 工学域広報委員会 | 広報に関すること（入試広報を含む） ホームページの運営に関すること 研究報告に関すること | ME、EE、CS、JM、CE、AC、AM から各2名 | 2年 | 学部長指名の者 |
| 工学部毒物及び劇物等管理委員会 | 毒物及び劇物等の管理に関すること | ME、EE、CS、JM、CE、AC、AM、I、R から各1名 | 2年 | 学部長指名の委員 |
| 先端領域若手研究リーダー育成拠点（工学域）実施委員会 | 工学域におけるテニュアトラック制度実施に関すること | 学部長指名 | | 学部長 |

※ 組織欄の記号は、各学科・専攻等名を表わす。

ME：機械工学科、 EE：電気電子工学科、 CS：コンピュータ理工学科、
JM：情報メカトロニクス工学科、 CE：土木環境工学科、 AC：応用化学科
AM：先端材料理工学科、 MS：機械システム工学専攻、 ES：電気電子システム工学専攻
KM：コンピュータ・メディア工学専攻、 CE：土木環境工学専攻、 AA：応用化学専攻
BT：生命工学専攻、 SS：持続社会形成専攻、 HS：人間システム工学専攻
CP：クリーンエネルギー特別教育プログラム、 WP：ワイン科学特別教育プログラム
KP：組込み型統合システム教育プログラム、 RP：国際流域環境科学特別教育プログラム
GP：グリーンエネルギー変換特別教育プログラム